

津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

図名リスト			
機械設備工事		電気設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M-01	機械設備工事特記仕様書 1	E-01	電気設備工事特記仕様書 1
M-02	機械設備工事特記仕様書 2	E-02	電気設備工事特記仕様書 2
M-03	附近見取図、配置図、仮設計画図	E-03	電気設備工事特記仕様書 3
M-04	空調設備 凡例・機器仕様・参考要領図	E-04	新設キュービクル 単線結線図
M-05	空調設備 配管系統図	E-05	既設キュービクル 単線結線図
M-06	空調設備 1階平面図	E-06	電気設備 配置図
M-07	空調設備 2階平面図	E-07	電気設備 キュービクル廻り詳細図
M-08	空調制御設備 1階平面図	E-08	空調電源設備 1階平面図
M-09	空調制御設備 2階平面図	E-09	空調電源設備 2階平面図
M-10	1、2階平面図		
M-11	短計図		
M-12	キプラン、建具表		
M-13	1階天井伏図		
M-14	2階天井伏図		
M-15	改修前、後 外構図		
M-16	改修前、後 キュービクル基礎図		

※ 横走り管の吊り間隔

銅管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鍍金鋼管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
銅管	-	50A~100A	125A~
鍍金鋼管			
ビニル管			
耐火二層管	25A~40A	50A~100A	125A~
銅管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊り場合は 液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 - ステンレス鋼板 JIS G4305
 - アングルフランジ工法
 - 共板フランジ工法
 - スライドオンフランジ工法
 - 山形鋼 JIS G 3101
 - スパイラルダクト
 - 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)
- 工法
- 形鋼補強
- 丸ダクト

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料
- 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- | | | | |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> グラスウール保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> |
| (屋外等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 | <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- | | | | |
|-----------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等) | 保温板、保温帯、ブラケット
1号JIS A 9504 | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> 消火管 |

- | | | | |
|------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9511 3号
保温板 JIS A 9511 3号 | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃) |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (屋外等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- | | | | |
|-----------------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 調合ベント塗り塗料 (露出) | JIS K 5516 (合成樹脂調合ベント) 1種 | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 通気管 | <input type="checkbox"/> ドレン管 |
| <input type="checkbox"/> ガス管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> 油管 | <input type="checkbox"/> 冷却水管 |

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	-	-	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)	
75mm	煙導(ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&8&9&10&11&12
天井内・P S内	7&8&9&10&11&12	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&8&9&10&11
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出の保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	8 11/9/7/4	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	8 11/9/7/4	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	8 11/9/7/4	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	8 11/9/7/4	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	8 11/9/7/4	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)
■ 保温化粧ケース (スリムダクトPD相当) 仕上 (給食室内露出部)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・温水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)	
温水・蒸気ヘッダ熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機補室				
	屋内隠蔽、D S内		アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温筒	鉄線	SUS鋼板
	機補室		アルミガラスクロス化粧保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所		保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム
サブライチャンバー	消音チャンバー、エルボ		紙	保温板	ガラスクロス
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽		紙	保温板	ガラスクロス
排煙ダクト円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ
煙道	フランケット		紙	保温板	カラー鉄板

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ベント	1	1	1	下塗りはさび止めベント
黒管	露出	調合ベント	2	1	1	下塗りはさび止めベント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A
- 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
2. E A
- 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
3. R A
- 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
4. O A
- 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンバー内貼施工
- 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ポイドとする。紙ポイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブレ取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けのガラのチャンバーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間防に吊り下げなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上とする。
- 15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 18) 建設発生土は場外自由処分すること。

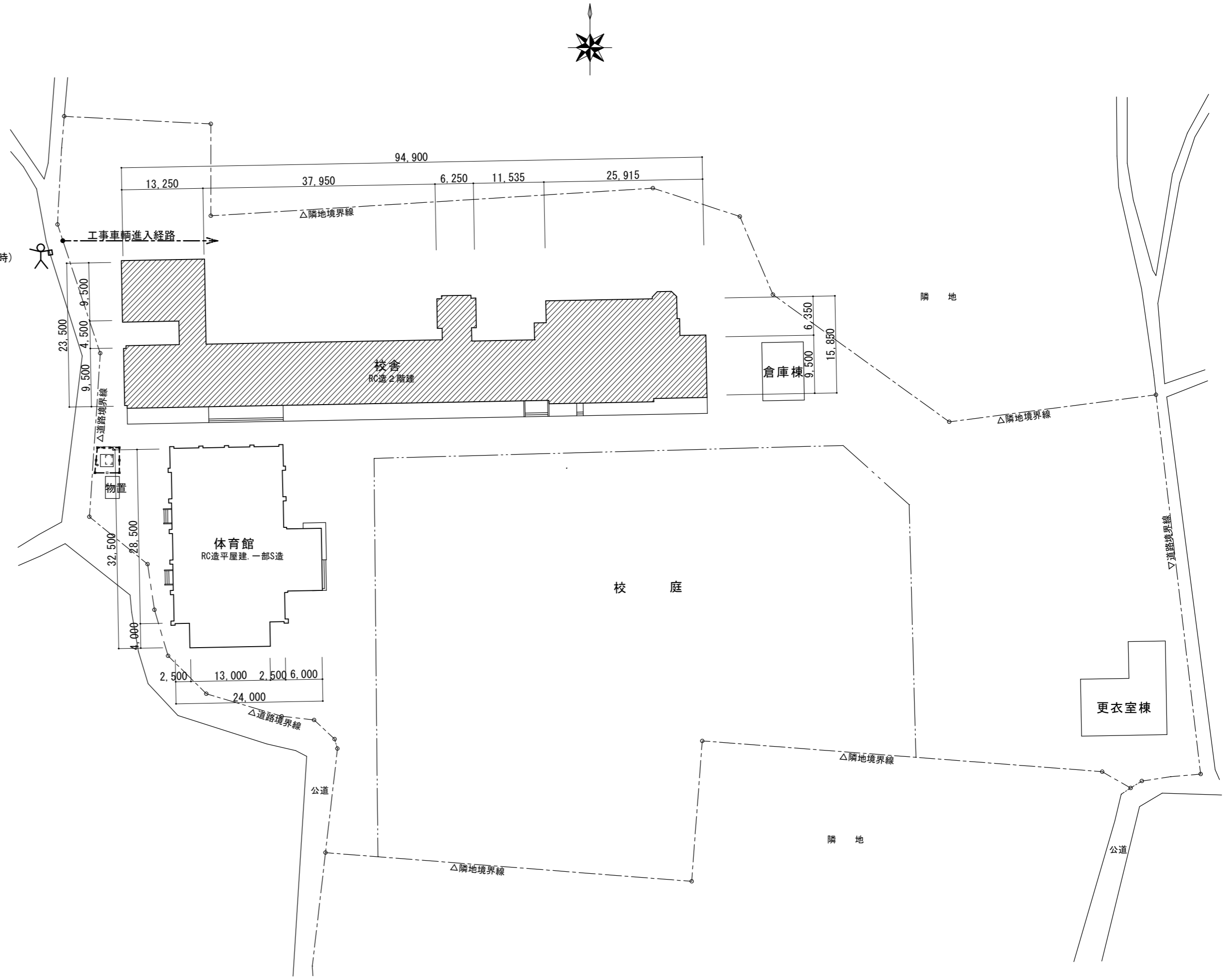
※特記事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
- ※ 現場作業手までの敷地内調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、また休日等の行事に影響を与えない範囲とする。
- ※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
- ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ※ 安全対策として、作業範囲にはコーンバー等を設置すること。
- ※ 側溝、樹等は車両通行時に破壊しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
- ※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け安全確保に十分配慮すること。
- ※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承諾を得てから行うこと。
- ※ 工事着手前には、現況状況把握のために破損箇所があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
- ※ 本工事の現場施工にあたっては学校運営に支障のないように、土日祝日等休日に施工を行うようにすること。ただし、平日であっても授業等に影響のない範囲に限り施工を行うことを認める。
- ※ 給食室内で作業を行う場合は衛生管理のため原則として長期休暇期間とする。ただし、軽微な作業等で給食室管理者の許可が得られる場合はこの限りではない。設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事には含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。



附近見取図

※交通整理員配置(大型車両出入時)

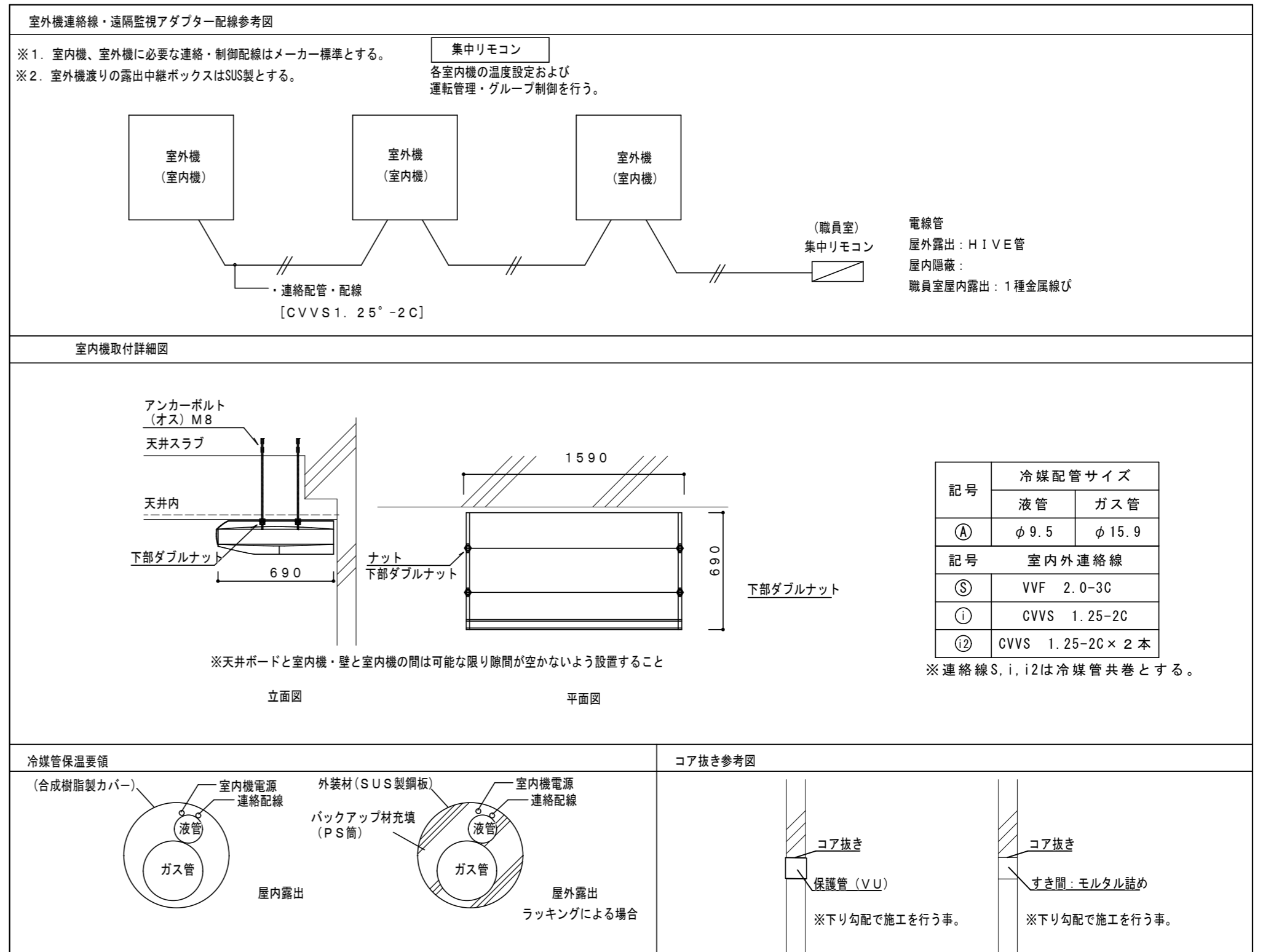


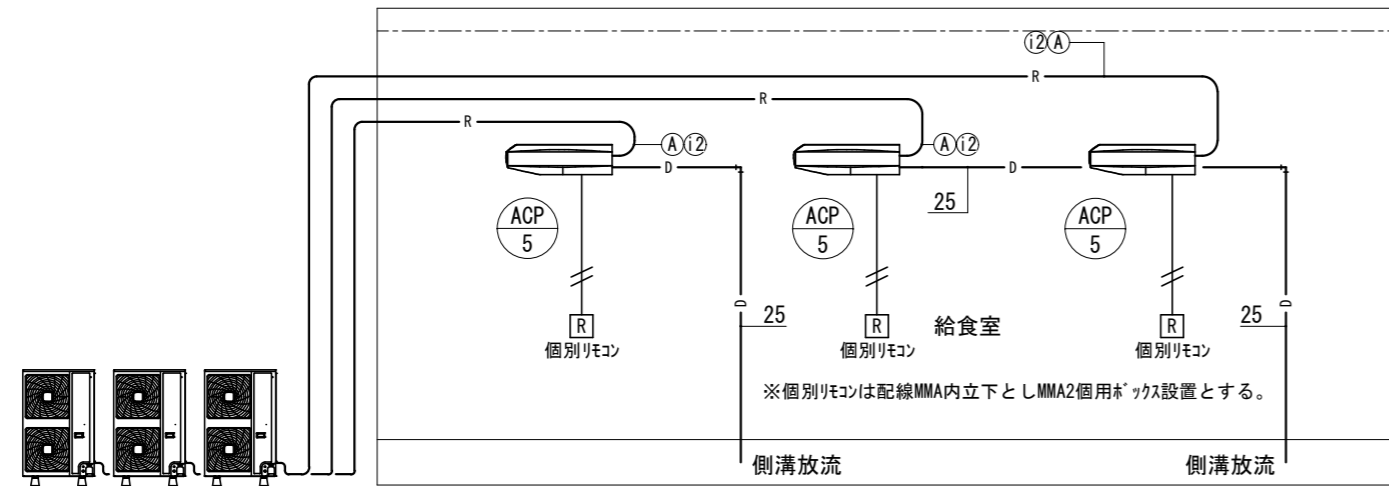
凡例 対象建築物

配置図、仮設計画図 S=1:600

空調機器表 (新設)					
記号	形式・名称	仕様		台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力：7.1(3.2~8.0)Kw	暖房能力：8.0(3.8~9.5)Kw	2	防振ゴム ワイヤレスリモコン 集中リモコンアダプター
	天吊型	3相200v	冷房定格消費電力：2.10kW 暖房定格消費電力：2.25kW		
ACP-2	パッケージエアコン	冷房能力：14.0(6.3~16.0)Kw	暖房能力：16.0(7.2~20.0)Kw	2	防振ゴム ワイヤレスリモコン 集中リモコンアダプター
	天吊型	3相200v	冷房定格消費電力：5.38kW 暖房定格消費電力：4.65kW		
ACP-2'	パッケージエアコン	冷房能力：14.0(6.3~16.0)Kw	暖房能力：16.0(7.2~20.0)Kw	4	ワイヤレスリモコン 集中リモコンアダプター
	天吊型	3相200v	冷房定格消費電力：5.38kW 暖房定格消費電力：4.65kW		
ACP-3	パッケージエアコン	冷房能力：20.0(10.1~22.4)Kw	暖房能力：22.4(10.1~28.0)Kw	1	ワイヤレスリモコン 集中リモコンアダプター
	天吊型 同時ツイン	3相200v	冷房定格消費電力：6.81kW 暖房定格消費電力：6.15kW		
ACP-4	パッケージエアコン	冷房能力：25.0(11.3~28.0)Kw	暖房能力：28.0(12.6~35.0)Kw	2	ワイヤレスリモコン 集中リモコンアダプター
	天吊型 同時ツイン	3相200v	冷房定格消費電力：10.4kW 暖房定格消費電力：8.65kW		
ACP-4'	パッケージエアコン	冷房能力：25.0(11.3~28.0)Kw	暖房能力：28.0(12.6~35.0)Kw	1	ワイヤレスリモコン 転倒防止金物 集中リモコンアダプター
	天吊型 同時ツイン	3相200v	冷房定格消費電力：10.4kW 暖房定格消費電力：8.65kW		
ACP-5	厨房用エアコン	冷房能力：12.5(5.7~14.0)Kw	暖房能力：14.0(6.3~18.0)Kw	3	ワイヤードリモコン 転倒防止金物 集中リモコンアダプター
	天吊型	3相200v	冷房定格消費電力：5.38kW 暖房定格消費電力：4.65kW		
集中管理リモコン	液晶タッチパネル			1	グループ制御・個別一括運転・停止・以上表示・温度設定
特記事項：運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。					
空調機トッランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。					
室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。					
リモコン配線共本工事とする。					
室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。					
機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシート(t=10以上)を敷くこと。					
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様による。					

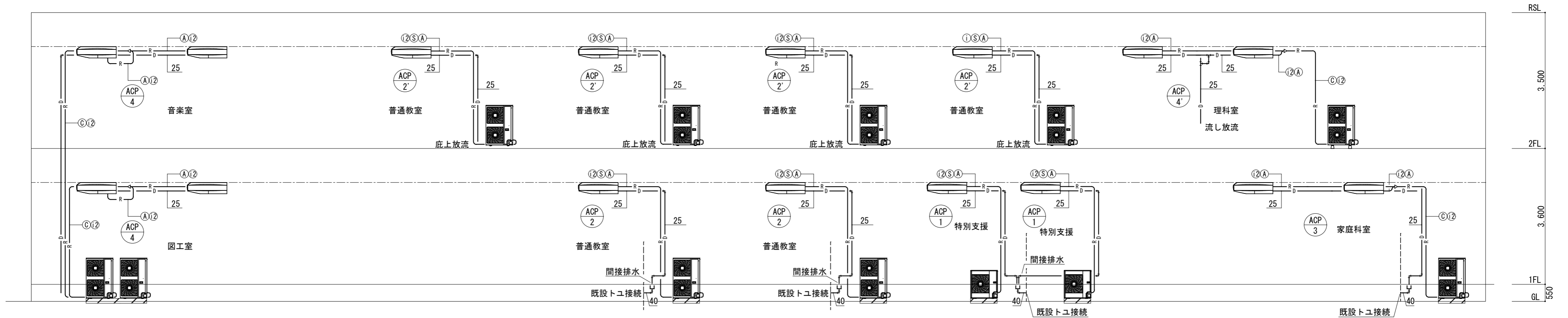
凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	防露塗装仕様
— R —	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋内露出：配管化粧カバー 屋外露出：ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
— D —	ドレン管	保温付VP ※屋外はカーVPとする	





記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
(A)	φ 9.5	φ 15.9
(B)	φ 9.5	φ 25.4
(C)	φ 12.7	φ 25.4
記号	室内外連絡線	
(S)	VVF 2.0-3C	
(I)	CVVS 1.25-2C	
(I2)	CVVS 1.25-2C × 2本	

※連絡線S, i, i2は冷媒管共巻とする。(系統図参照)



配管系統図

memo

check
client
architect
contractor

scale

drawing title
空調設備
配管系統図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

M-05

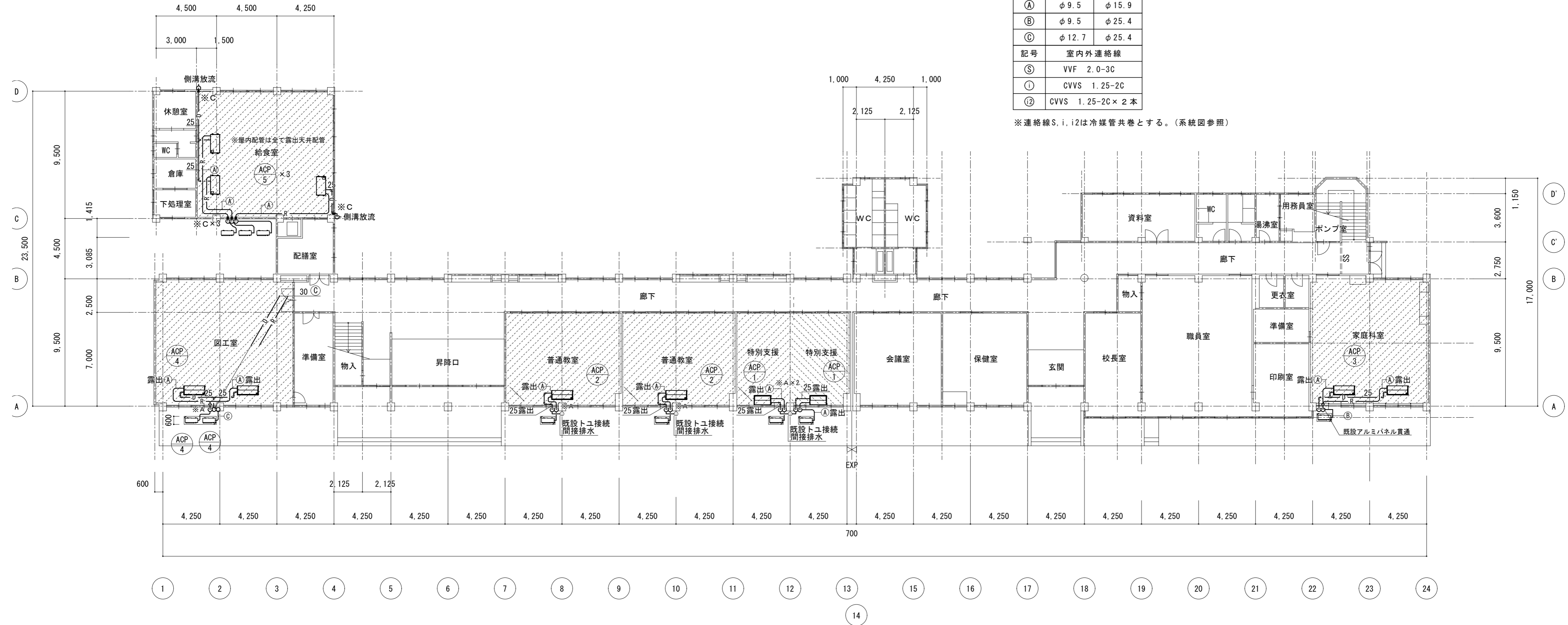
原図: A2



凡例	
図示記号	仕様
※A	新設アルミパネル貫通 (取替図は別図参照)
※C	躯体壁コア抜き補修
⊗	浸透柵 合成樹脂製 塩ビ蓋 φ200

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ 9.5	φ 15.9
Ⓑ	φ 9.5	φ 25.4
Ⓒ	φ 12.7	φ 25.4
記号	室内外連絡線	
⑤	VVF 2.0-3C	
①	CVVS 1.25-2C	
⑫	CVVS 1.25-2C × 2本	

※連絡線S, i, i2は冷媒管共巻とする。(系統図参照)



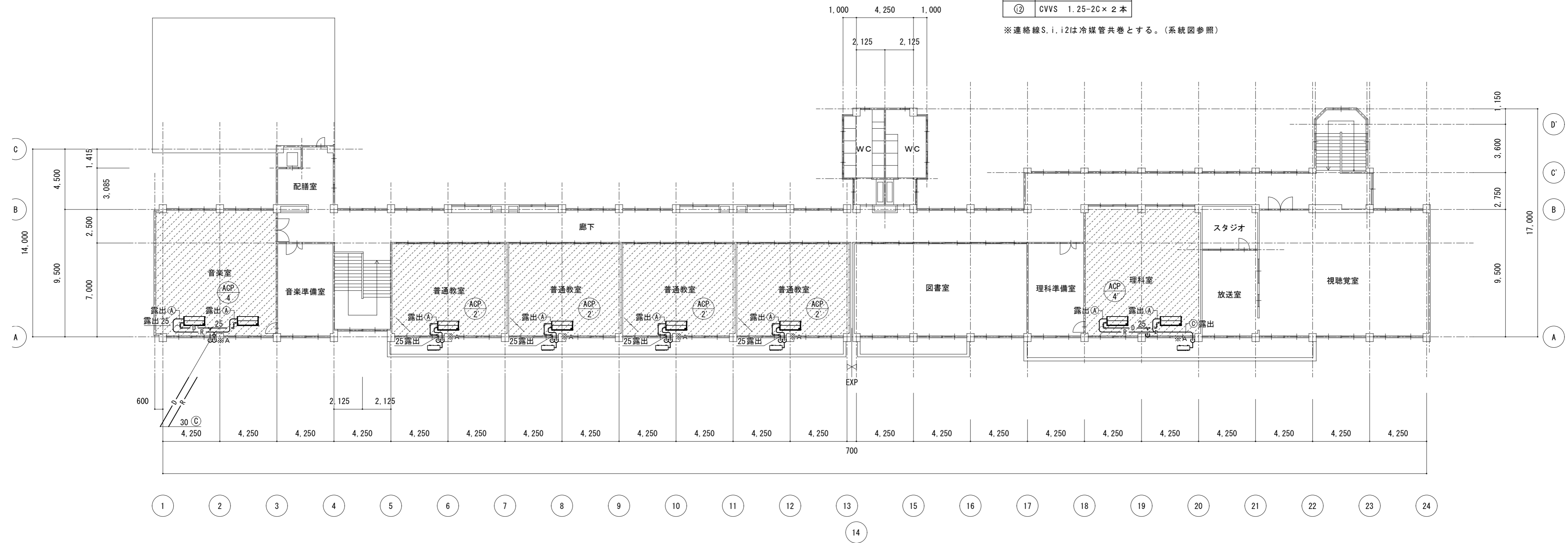
1階平面図 S=1:200 凡例 工事箇所



凡例	
図示記号	仕様
※A	新設アルミパネル貫通 (取替図は別図参照)
※C	躯体壁コア抜き補修
⊗	浸透樹 合成樹脂製 塩ビ蓋 φ200

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ9.5	φ15.9
Ⓑ	φ9.5	φ25.4
Ⓒ	φ12.7	φ25.4
記号		
室内外連絡線		
⑤	VVF 2.0-3C	
①	CVVS 1.25-2C	
⑫	CVVS 1.25-2C × 2本	

※連絡線S, i, i2は冷媒管共巻とする。(系統図参照)



2階平面図 S=1:200

凡例 工事箇所

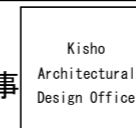
memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:200

drawing title
空調設備
2階平面図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事



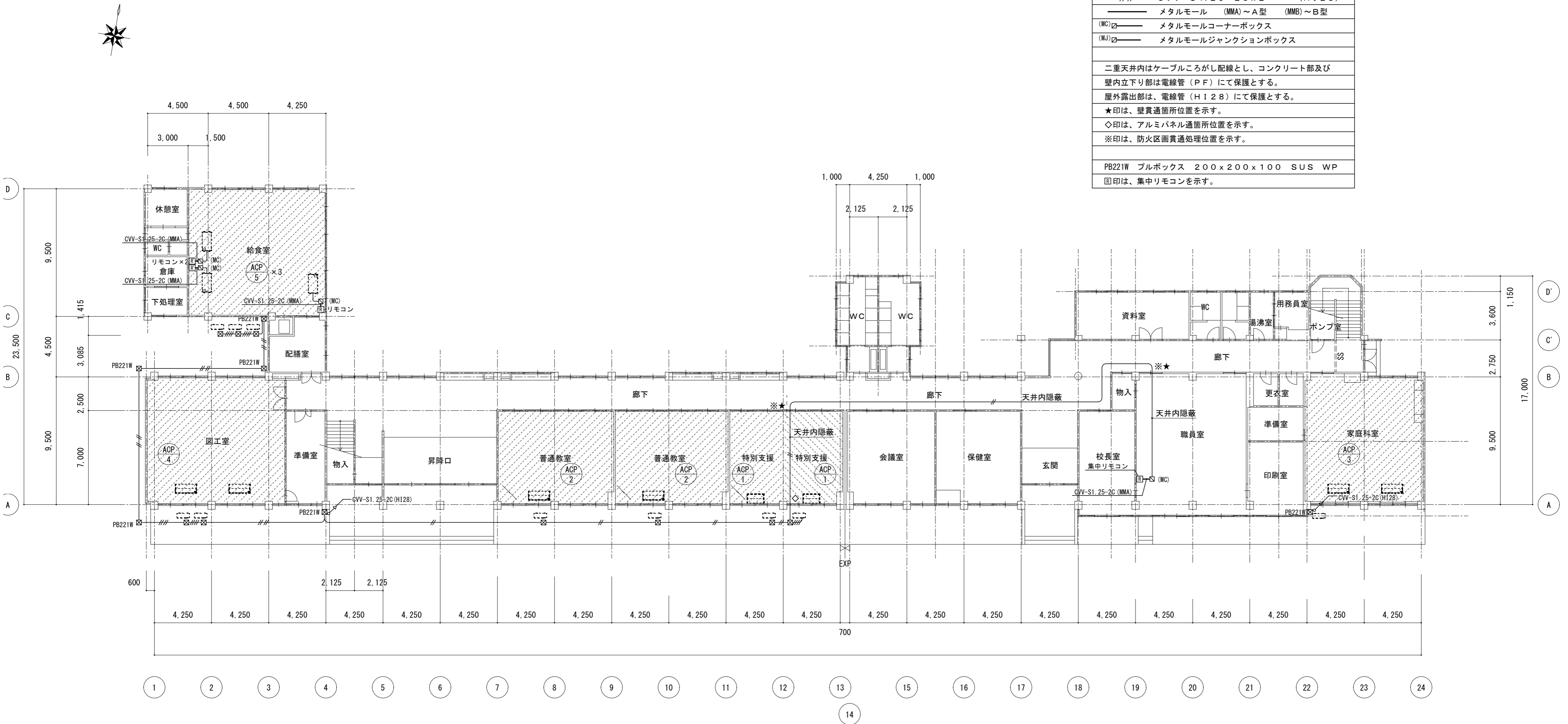
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.
M-07
原図: A2

注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。		
—//—	CVV-S1.25-2C	(H128)
—//—	CVV-S1.25-2Cx2	(H128)
—	メタルモール (MMA)~A型 (MMB)~B型	
(MC)□	メタルモールコーナーボックス	
(MJ)□	メタルモールジャンクションボックス	
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部は電線管(PF)にて保護とする。		
屋外露出部は、電線管(H128)にて保護とする。		
★印は、壁貫通箇所位置を示す。		
◇印は、アルミパネル通箇所位置を示す。		
※印は、防火区画貫通処理位置を示す。		
PB221W プルボックス 200×200×100 SUS WP		
□印は、集中リモコンを示す。		

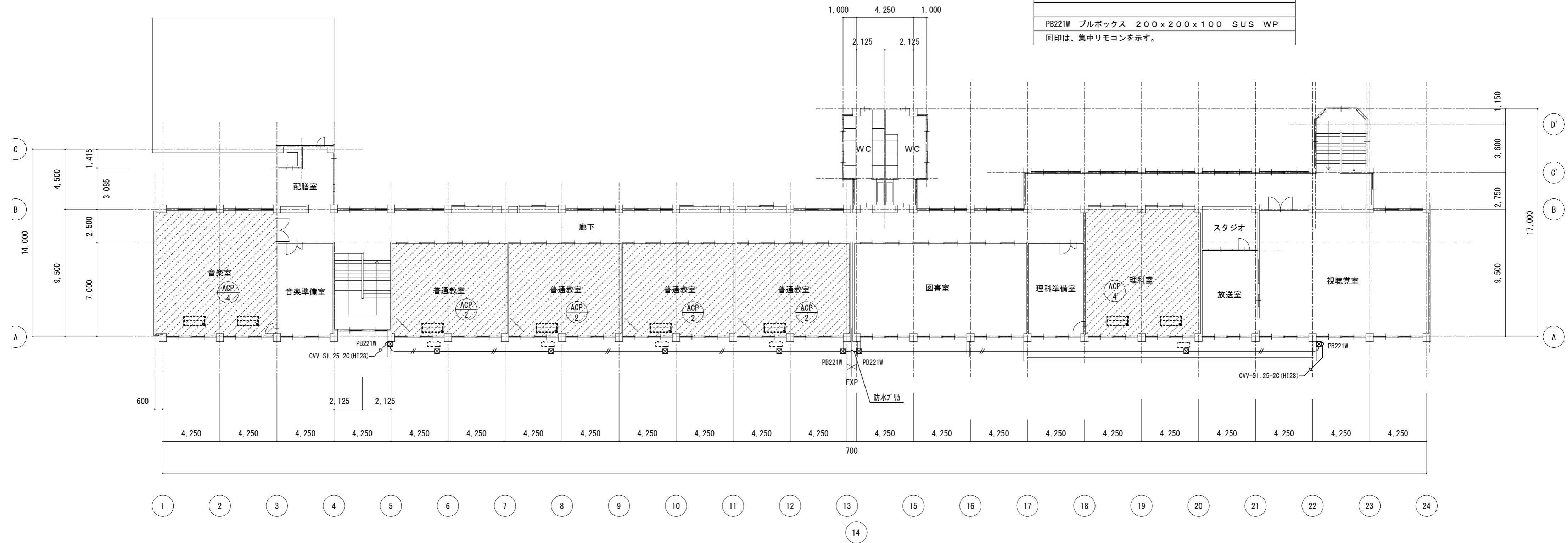


1階平面図 S=1:200 凡例 工事箇所



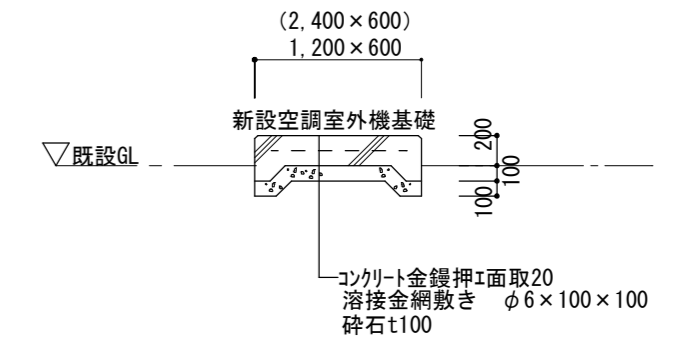
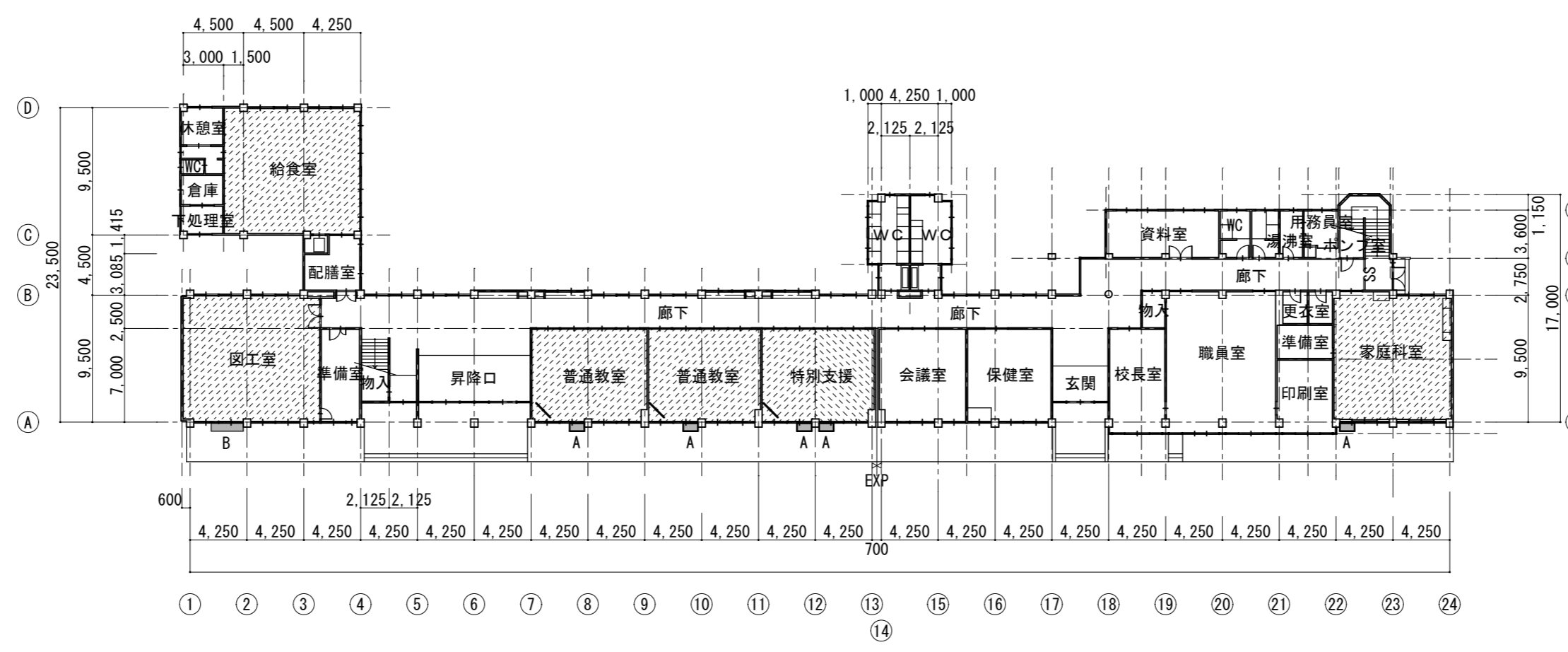
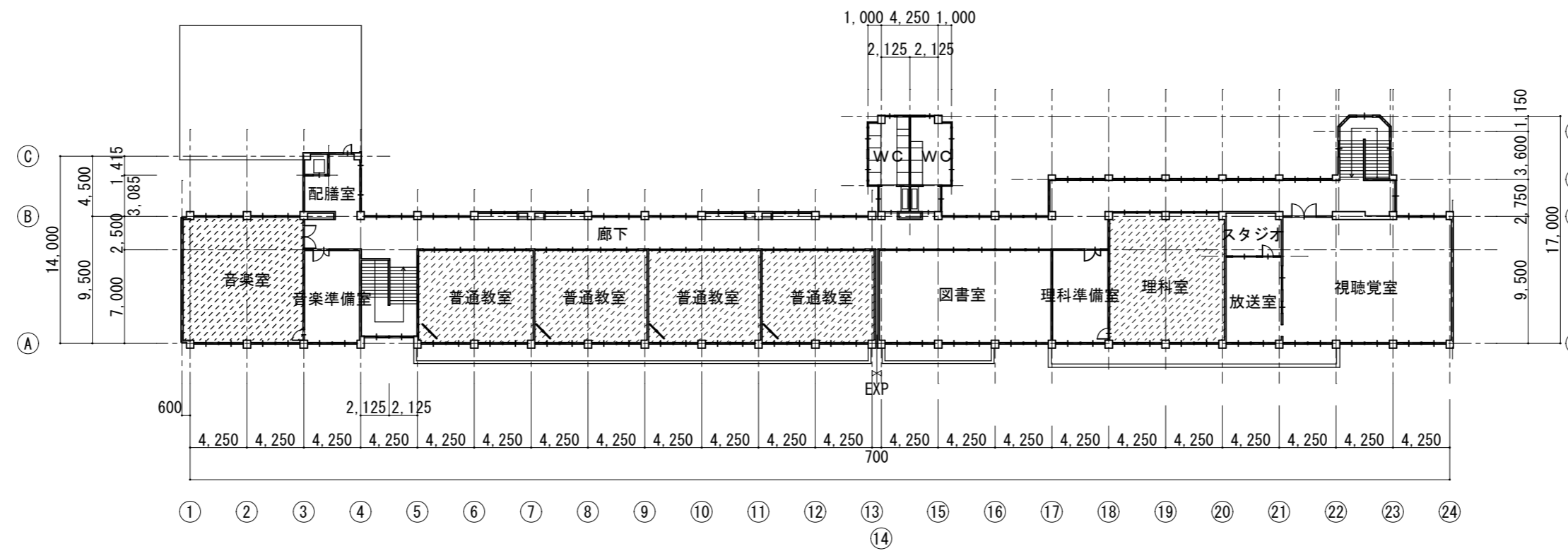
注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。		
—//—	CVV-S1.25-2C	(H128)
—//—	CVV-S1.25-2Cx2	(H128)
—	メタルモール (MMA)~A型 (MMB)~B型	
(MC) □	メタルモールコーナーボックス	
(MJ) □	メタルモールジャンクションボックス	
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部は電線管 (PF) にて保護とする。		
屋外露出部は、電線管 (H128) にて保護とする。		
★印は、壁貫通箇所位置を示す。		
◇印は、アルミパネル通箇所位置を示す。		
※印は、防火区画貫通処理位置を示す。		
PB221W ブルボックス 200x200x100 SUS WP		
□印は、集中リモコンを示す。		



2階平面図 S=1:200

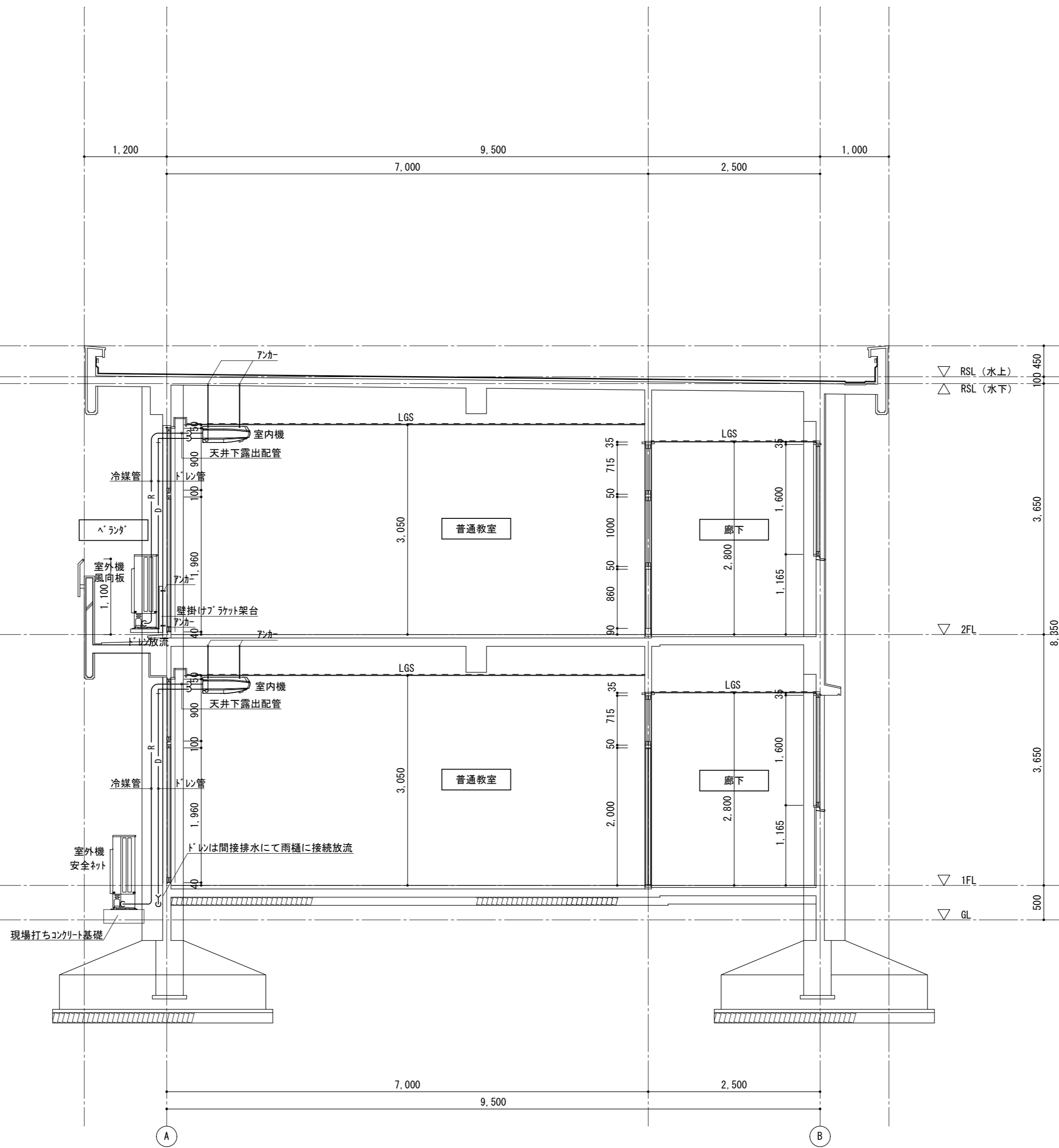
凡例 工事箇所



- 凡例
- 工事箇所
 - A: 空調室外機基礎 1200×600×GL+200 5箇所
 - B: 空調室外機基礎 2400×600×GL+200 1箇所

※ () 内寸法はB 空調室外機基礎





短計図 S=1:50

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:50

drawing title
短計図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

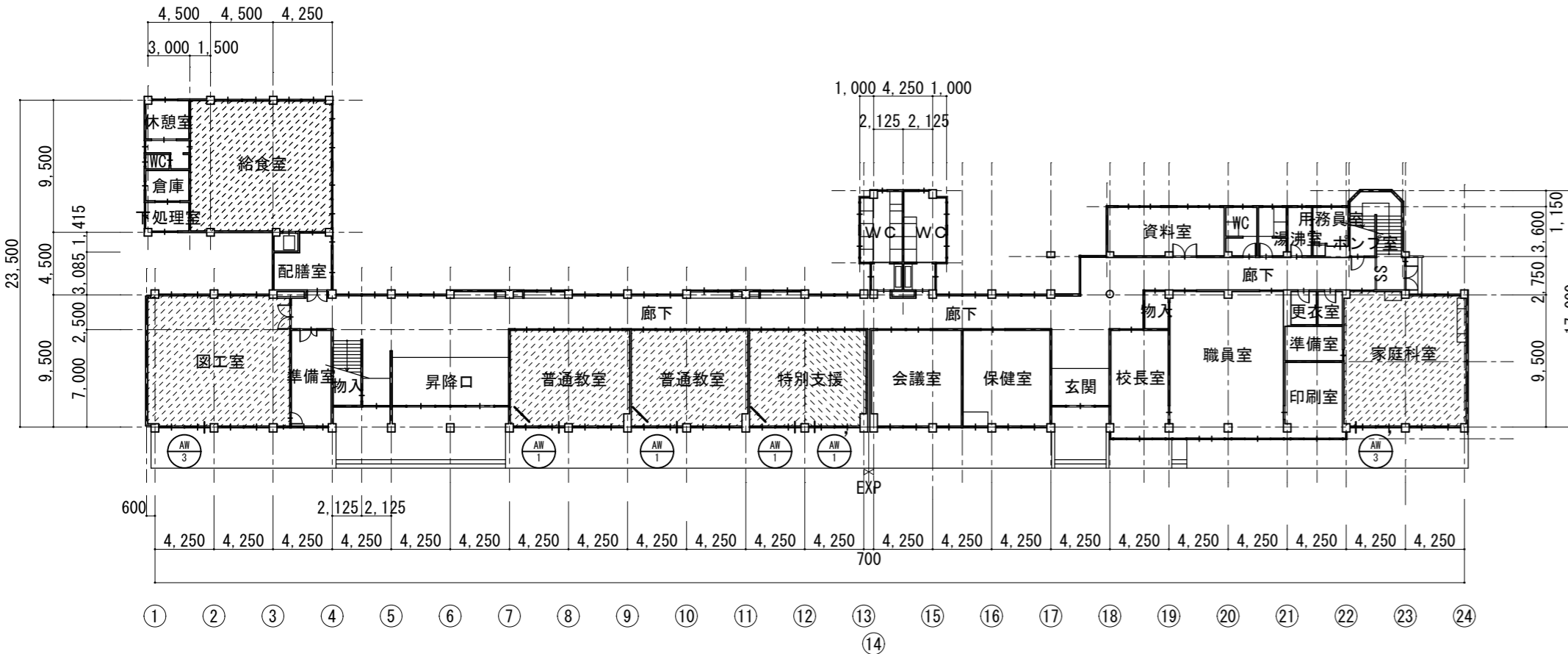
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

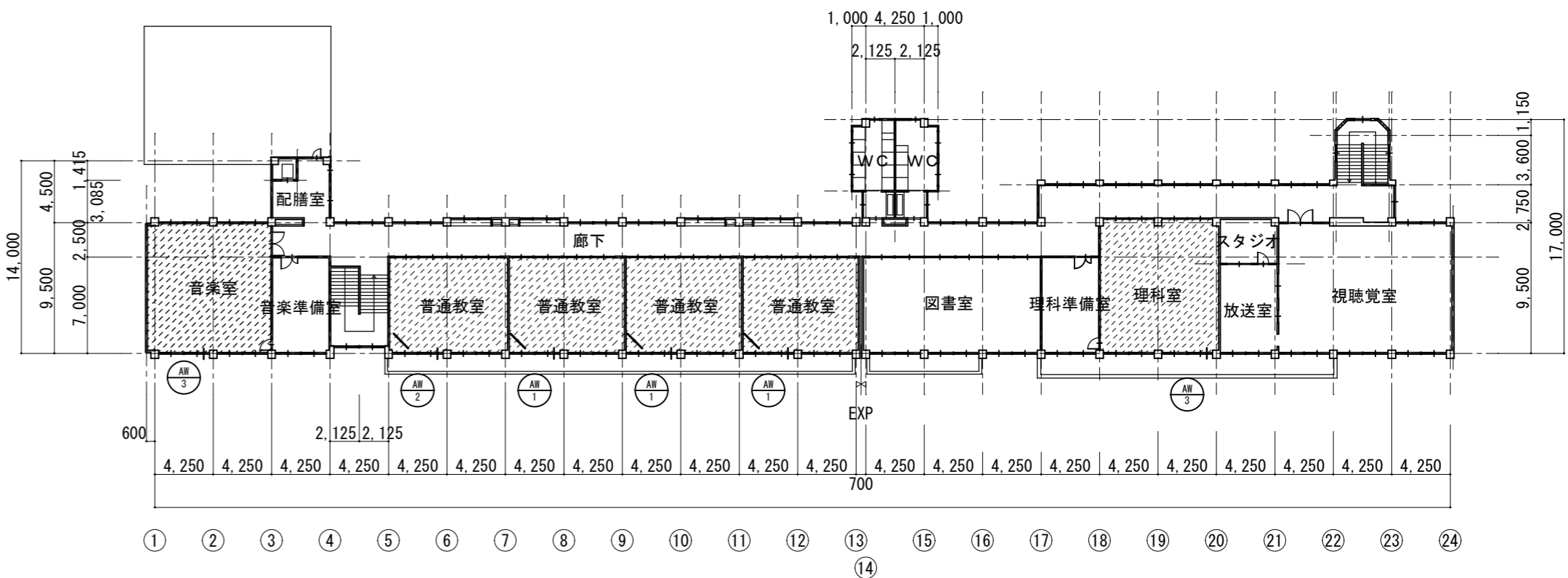
M-11

原図: A2



1階建具表キ-プラン S=1:400

凡例 工事箇所



2階建具表キ-プラン S=1:400

記号・数量	AW1 × 6	AW1 × 1	AW2 × 1	AW3 × 3	AW3 × 1
形状	<p>改修前</p> <p>改修後</p>	<p>改修前</p> <p>改修後</p>	<p>改修前</p> <p>改修後</p>	<p>改修前</p> <p>改修後</p>	<p>改修前</p> <p>改修後</p>
場所	1、2階普通教室	1、2階普通教室	2階普通教室	1階図書室、2階音楽室、理科室	1階家庭科室
形式	2連2段引違7mmサッシ	2連2段引違7mmサッシ	2連2段引違7mmサッシ	2連2段引違7mmサッシ	
見込	70	70	70	70	
材質・仕上	7mmアルミ仕上	7mmアルミ仕上	7mmアルミ仕上	7mmアルミ仕上	
硝子	学校用強化透明ガラス t=3	学校用強化透明ガラス t=3	学校用強化透明ガラス t=3	学校用強化透明ガラス t=3	
金物	引手、クレセント	引手、クレセント	引手、クレセント	引手、クレセント	
備考					

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:400

drawing title
キ-プラン・建具表

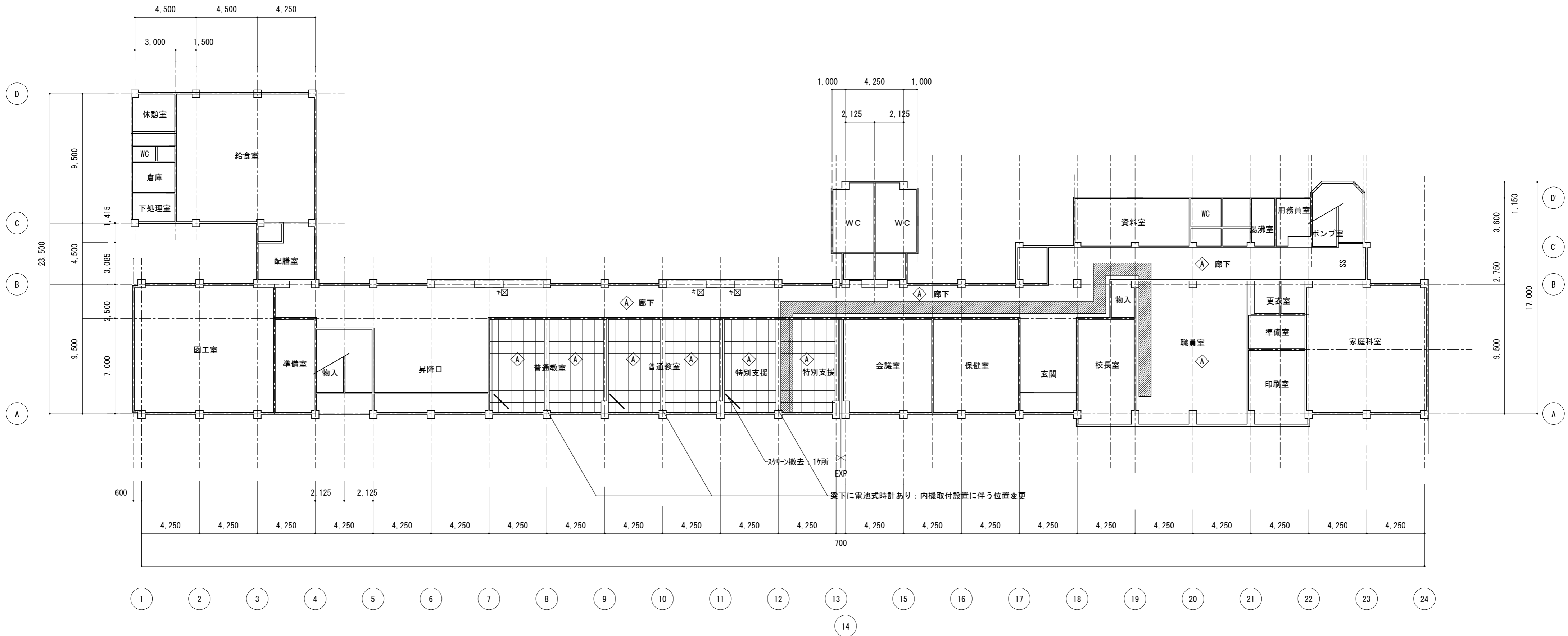
project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事



一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

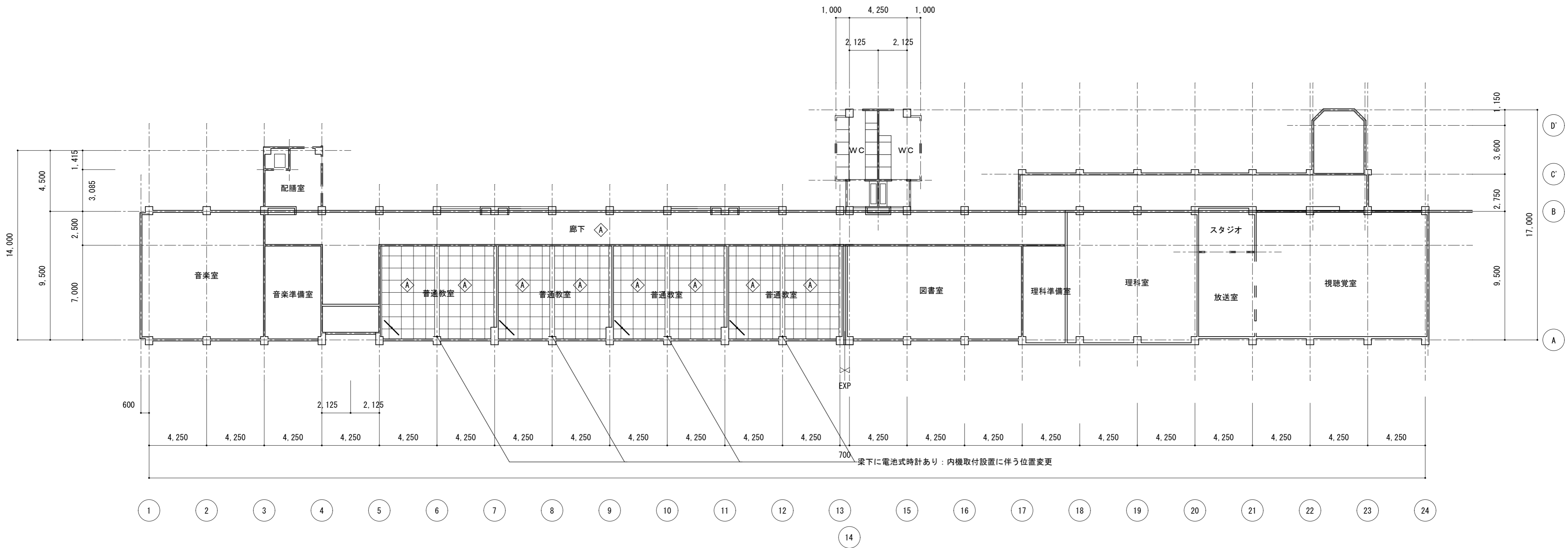
sheet no.
M-12
原図: A2



1階天井伏図 S=1:200

- 凡例
- 天井脱着箇所
 - 既設7mm天井点検口450角

天井仕上表	
	化粧石膏ボード t=9 突付貼 ビス止



2階天井伏図 S=1:200

- 凡例
- 天井脱着箇所
 - 既設7mm天井点検口450角

天井仕上表	
A	化粧石膏板 t=9 突付貼 ビス止

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:200

drawing title
2階天井伏図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

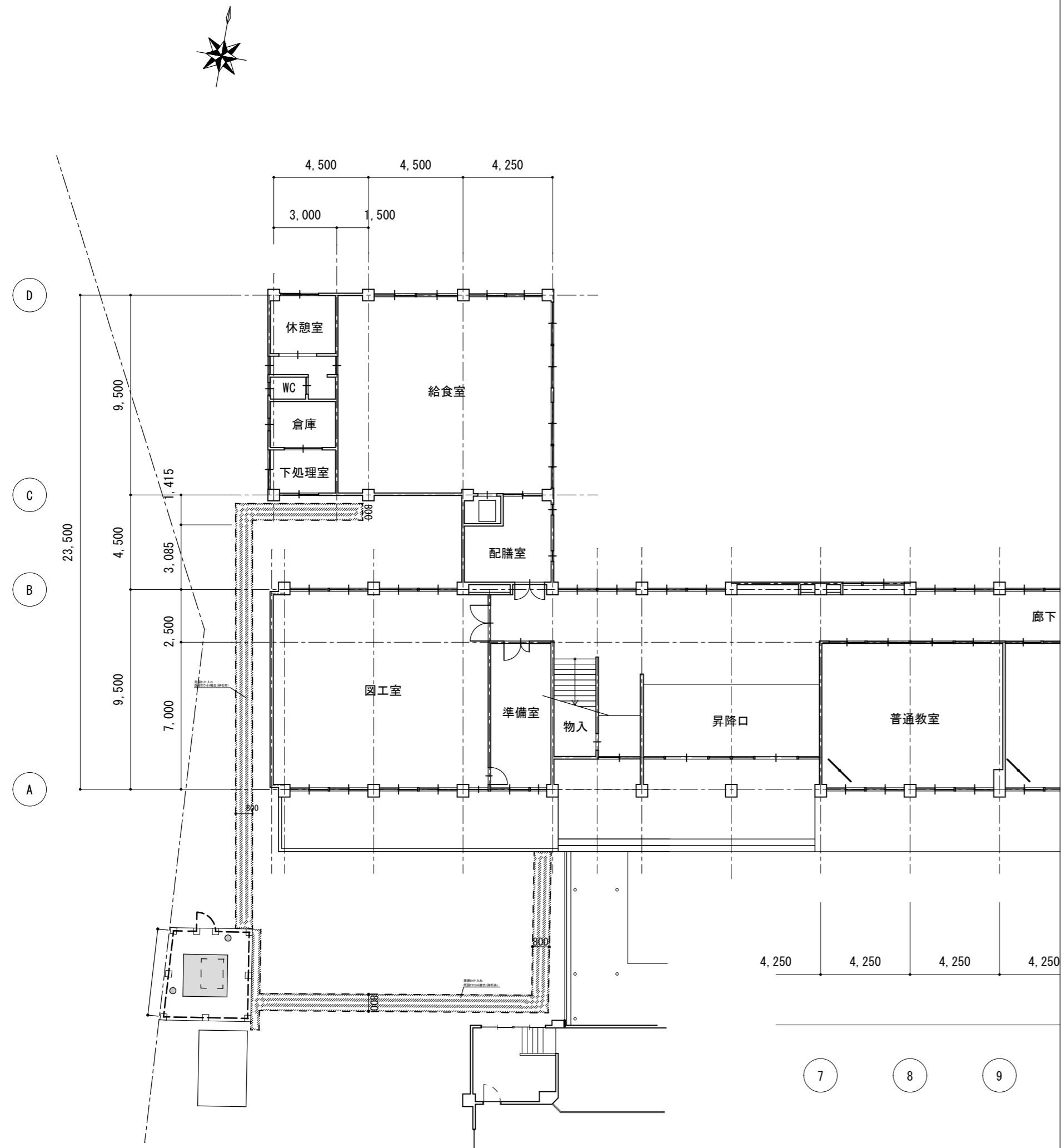
drawing no.

sheet no.

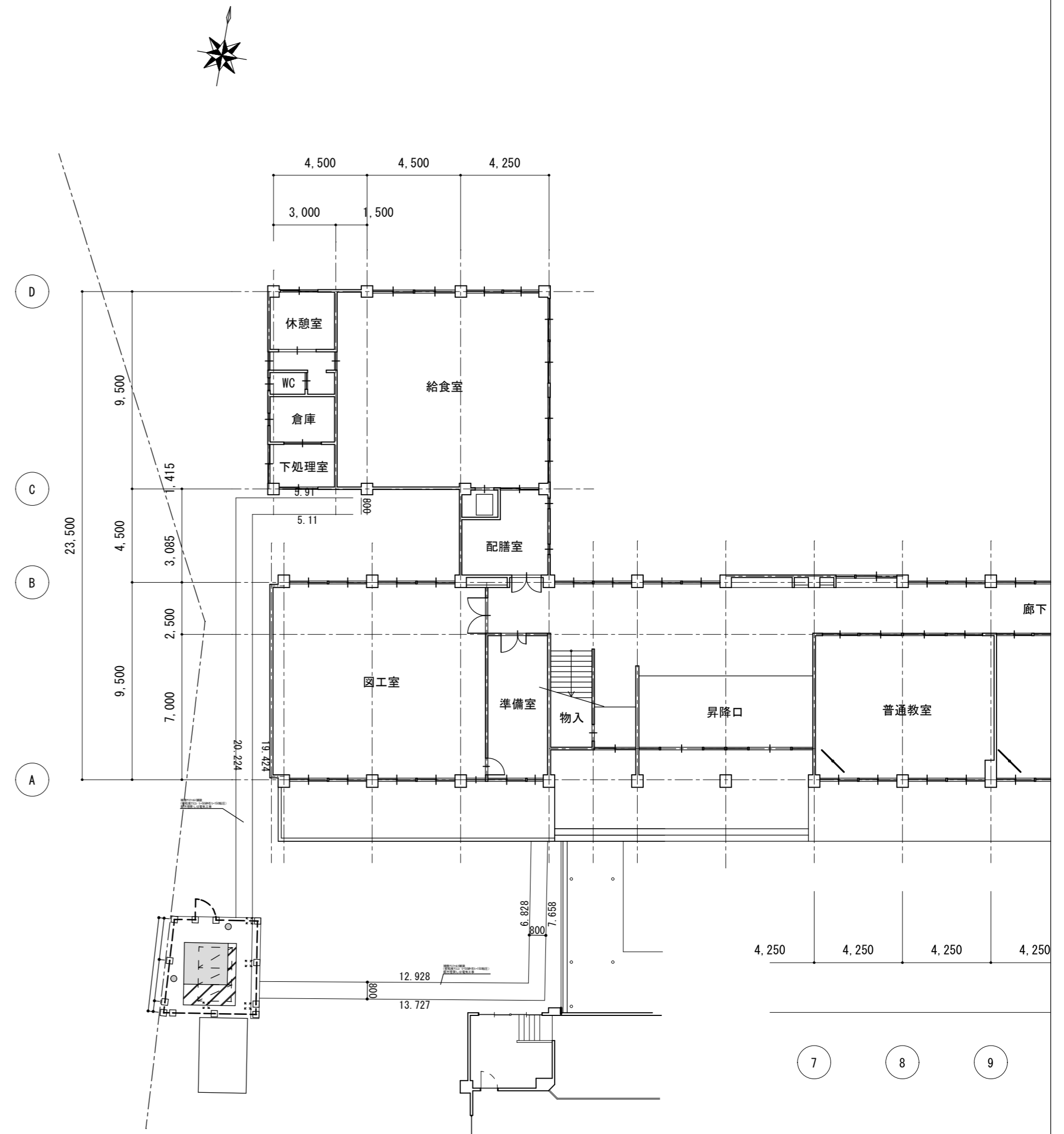
M-14

原図：A2

改修前



改修後



memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:200

drawing title
改修前、後 外構図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

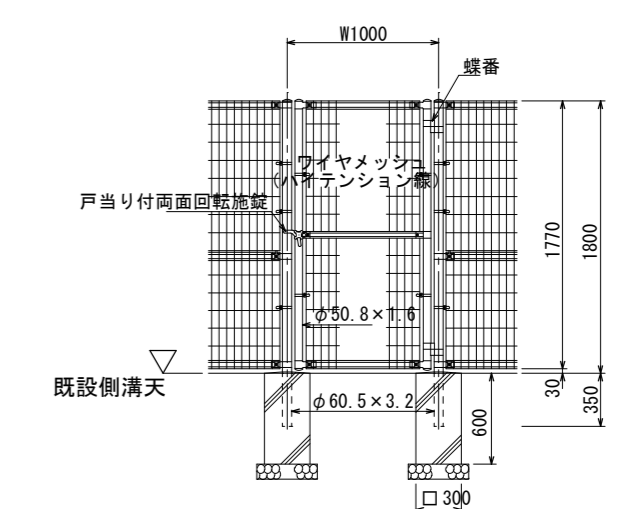
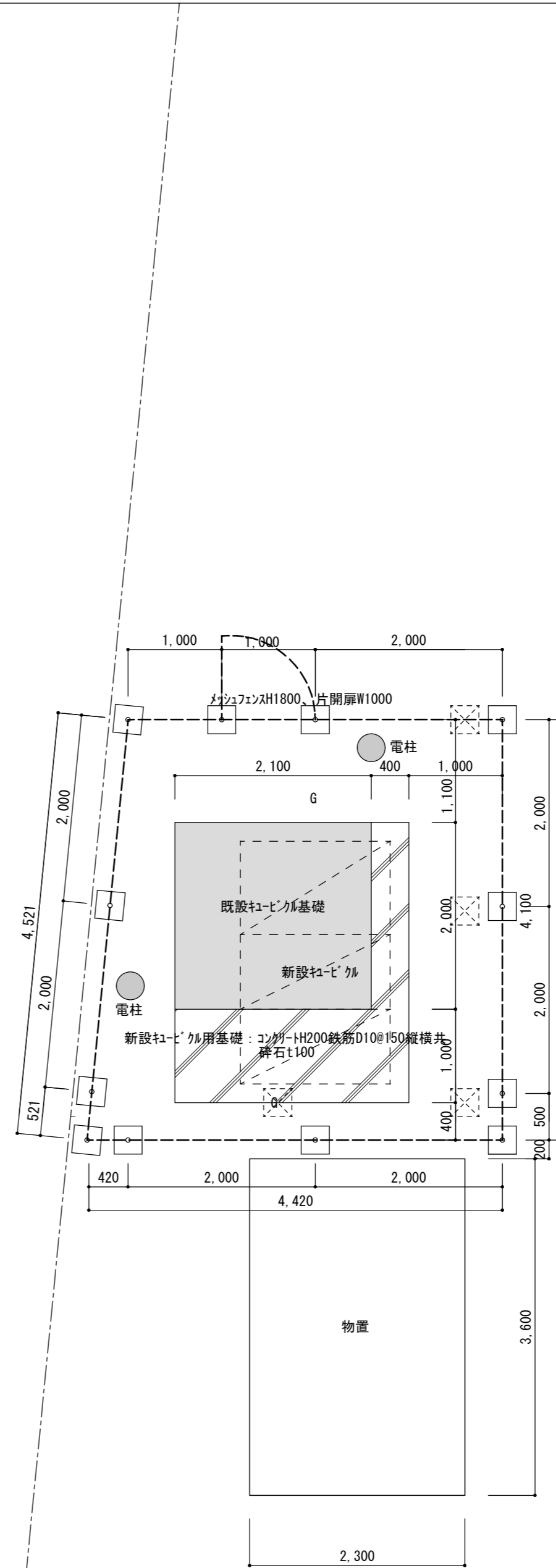
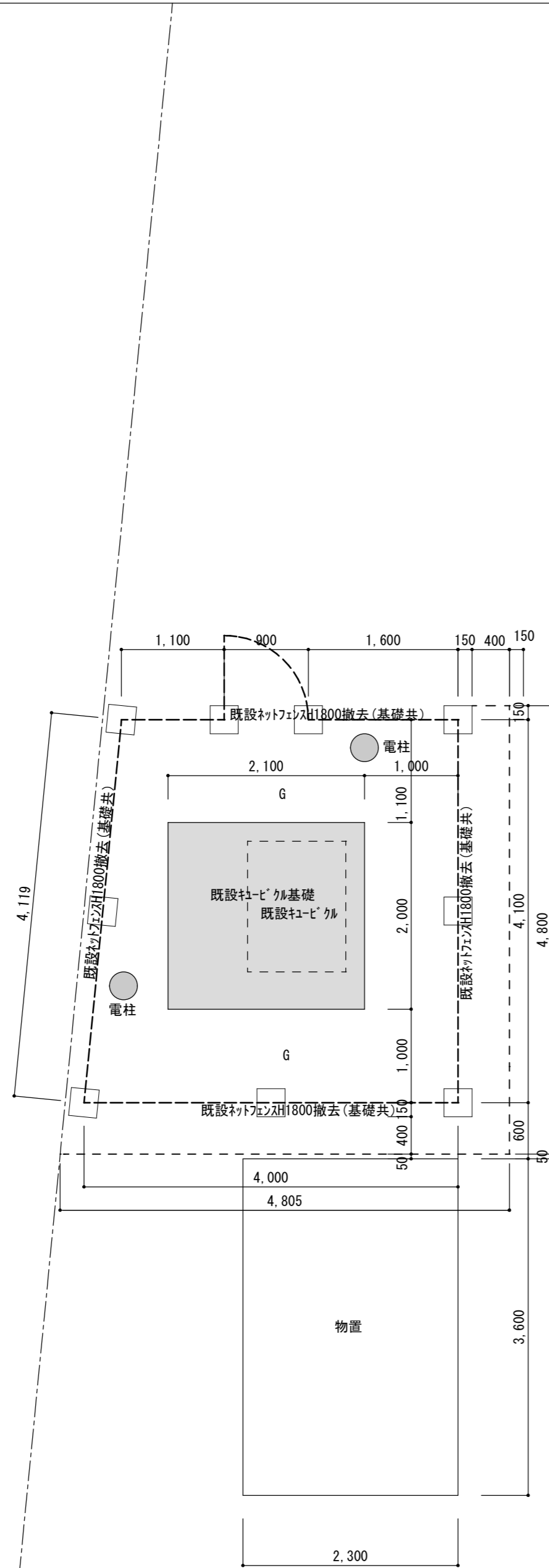
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

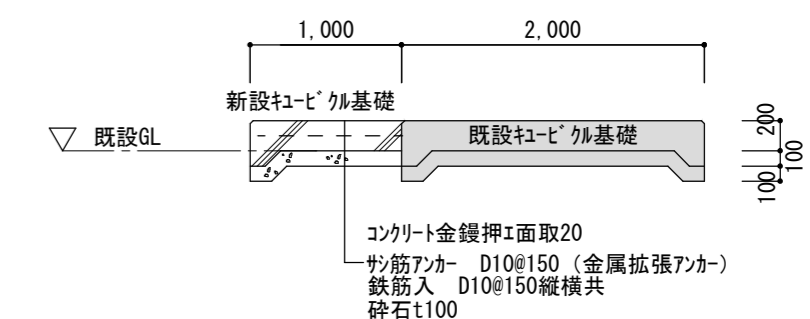
sheet no.

M-15

原図: A2



既存ネットフェンスH1800、片開扉、フェンス基礎断面図 S=1:50



新設キュービクル用基礎断面図 S=1:50

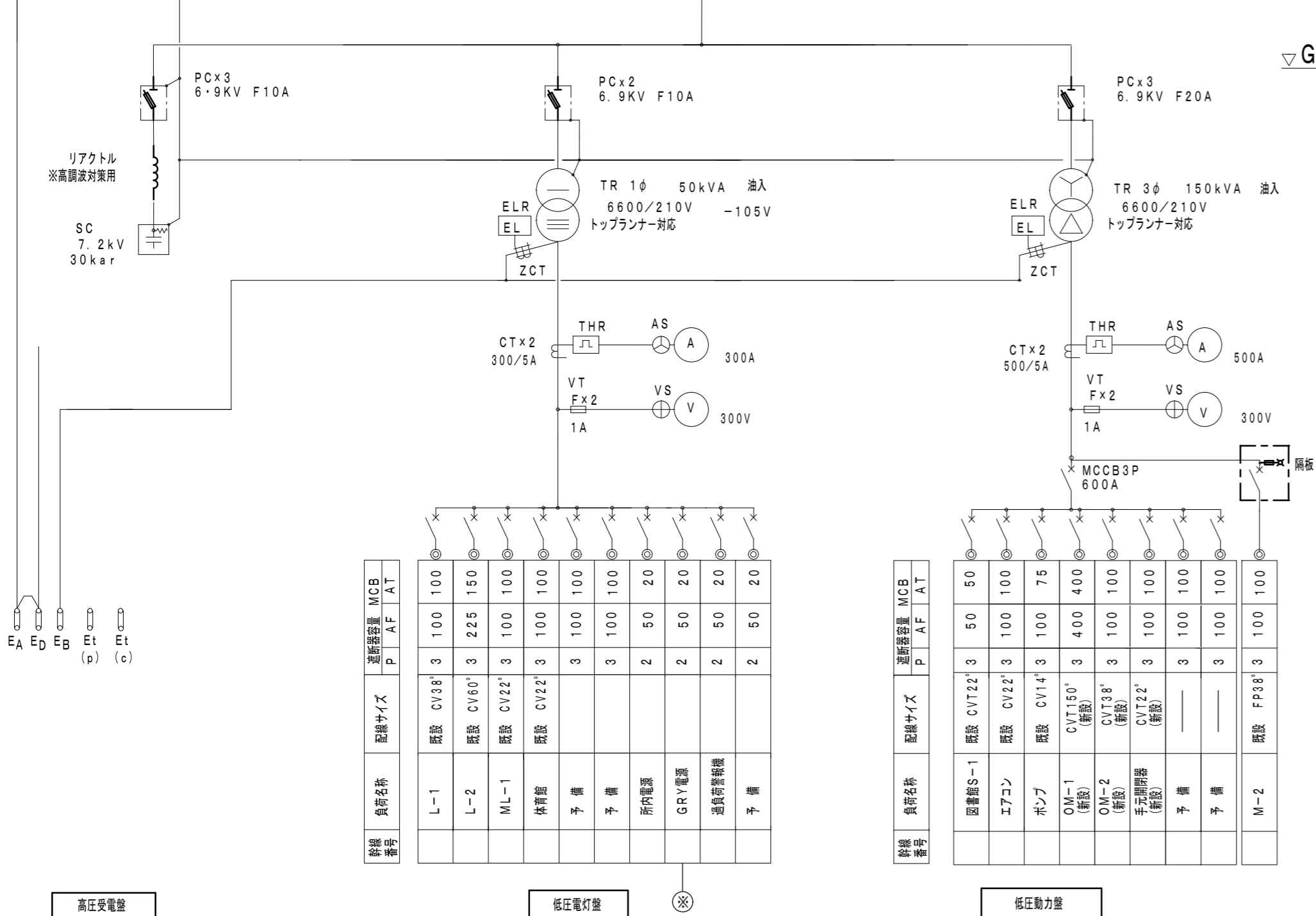
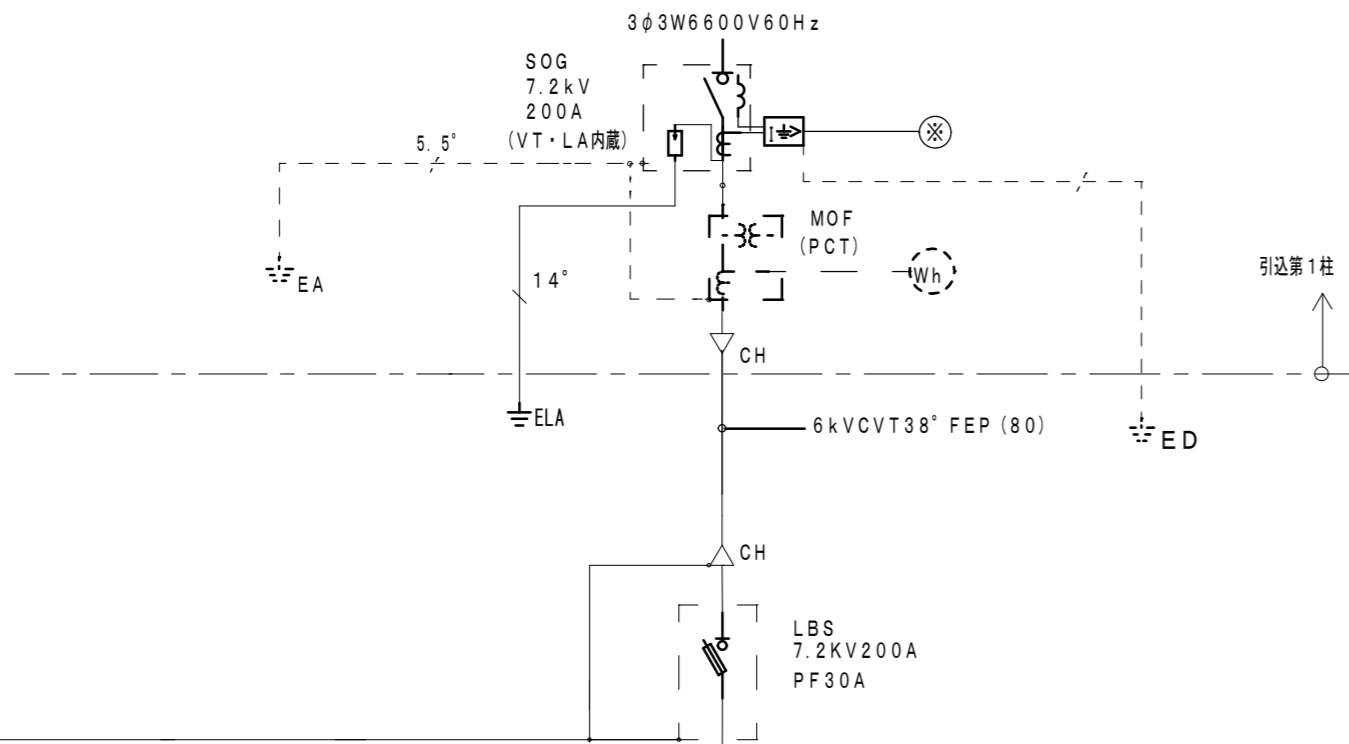
<p>20. 配線器具の設置</p> <p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電源の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場合は金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合、新金製とする。 (5) カバープレートは、原則として新金製とする。 なお、導線を兼ねない位置ボックスには用途表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リフト付)とする。</p> <p>21. 照明器具の設置</p> <p>(1) コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。(乾燥した場所のコンタクト器具(27W以下)を除く。) (2) 接地線は電圧配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線(緑線)を添えることもできる。 (3) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A級とする。 (5) 天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6) ハイバ吊りの照明器具は取止めを施工する。</p> <p>22. 照明改修の際の測定</p> <p>対象箇所の改修前後の照度及び回路電圧の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所()回</p> <p>23. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正したものとする。 (2) 図面ホルダーに露出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。</p> <p>24. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは前面の状態を考慮する。 (3) 発電室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>25. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>26. 電圧関係の計算及び測定</p> <p>(1) 計算書の提出 電圧強度測定結果による計算書を提出 ① 測定時期 ・ 躯体上がり時 ・ その他() ② 測定の実施 1) 項目 全受電チャンネルの電圧強度、受電面電圧、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ 施工後 ・ その他() 2) 報告書提出回数 ・ 2部 ・ ()部</p> <p>27. 土工</p> <p>(1) 埋戻しの材料及び工法 ・ B種 (材料:根切り土中の良質土 / 工法:機器による締固め) ・ その他() ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、G_L-600mm以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管等は布掘り、外灯基礎、電柱等はほぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>28. ハンドホール、マンホール</p> <p>(1) 地中線路及びハンドホール等次下が考慮される場合は、次下対策を施す。 (2) 地耐力 ① 地耐力は、建築基準法施行令第33条の短期応力度とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 (3) 高さ900mmを超えるものについては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び出入口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 直線区間 ⑤ 直線部分では300程度に1個</p>	<p>3. 機器仕様</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">【電力設備】</td> </tr> <tr> <td>1. 電灯設備</td> <td>(1) 既設等との取り合い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯(単独設置)</td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td>(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接地 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td>(1) 避雷針 (2) 避雷導線 (3) 接地極 (4) 接地抵抗の測定 (5) 接地極埋設機</td> </tr> <tr> <td>4. 接地設備</td> <td>(1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設機</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【受変電設備】</td> </tr> <tr> <td>5. 受変電設備</td> <td>(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器</td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項	【電力設備】		1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯(単独設置)	2. 動力設備	(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接地 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等	3. 雷保護設備	(1) 避雷針 (2) 避雷導線 (3) 接地極 (4) 接地抵抗の測定 (5) 接地極埋設機	4. 接地設備	(1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設機	【受変電設備】		5. 受変電設備	(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	<p>(5) 断路器</p> <p>(6) 負荷開閉器</p> <p>(7) 変圧器</p> <p>(8) 進相コンデンサ</p> <p>(9) 直列リアクトル(進相コンデンサ用)</p> <p>(10) 設備不平衡</p> <p>(11) キュービクル等</p> <p>(12) 基礎</p> <p>(13) 配線ビット及び蓋</p> <p>(14) 設置場所</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1) 用途 (2) 容量 (3) 整流装置 (4) 蓄電池</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1) 用途 (2) 容量 (3) 給電方式 (4) 整流装置等 (5) 蓄電池</p> <p>(6) 性能</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 機能 (3) 蓄電池</p> <p>(4) 性能</p> <p>9. 分散電源</p> <p>10. 燃料式発電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 区分 (3) 機器 (4) 発電装置</p> <p>(5) 燃料</p> <p>(6) 燃料槽</p> <p>(7) 給油ボックス</p> <p>(8) 燃料移送ポンプ</p> <p>(9) 基礎</p>	<p>1) 形式 2) 操作方式</p> <p>1) 形式 2) 配電盤用 3) 引込柱用</p> <p>4) 地中引込用</p> <p>1) 形式 2) 設置方式 3) ダイヤル温度計</p> <p>1) 絶縁方式 2) その他</p> <p>1) 絶縁方式 2) 容量 3) その他</p> <p>1) 施工 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1) 用途 (2) 容量 (3) 整流装置 (4) 蓄電池</p> <p>1) 種類 2) 最低蓄電池温度</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1) 用途 (2) 容量 (3) 給電方式 (4) 整流装置等 (5) 蓄電池</p> <p>(6) 性能</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 機能 (3) 蓄電池</p> <p>(4) 性能</p> <p>9. 分散電源</p> <p>10. 燃料式発電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 区分 (3) 機器 (4) 発電装置</p> <p>(5) 燃料</p> <p>(6) 燃料槽</p> <p>(7) 給油ボックス</p> <p>(8) 燃料移送ポンプ</p> <p>(9) 基礎</p>	<p>11. 太陽光発電設備</p> <p>(1) 機器 (2) 太陽電池アレイ</p> <p>(3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置</p> <p>2) 定格周波数 3) 設置場所 4) 設置方式 5) 機能</p> <p>(4) 情報処理装置</p> <p>(5) 仕様詳細</p> <p>12. 風力発電設備</p> <p>(1) 機器 (2) 風力発電装置 (3) 制御装置 (4) 支持構造物 (5) 情報処理装置</p> <p>(6) 仕様詳細</p> <p>13. その他発電設備</p> <p>()の仕様詳細は別図による。</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>14. 構内情報通信網設備</p> <p>(1) インターフェース (2) WAN (3) ケーブル (4) アウトレット</p> <p>15. 構内交換設備</p> <p>(1) 機器 (2) 交換装置 (3) 電話機 (4) 端子盤類 (5) アウトレット</p> <p>16. 情報表示設備</p> <p>(1) 設備 (2) マルチサイン装置 (3) 出退表示装置 (4) 時刻表示装置</p>
項目	特記事項																			
【電力設備】																				
1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯(単独設置)																			
2. 動力設備	(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接地 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等																			
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 (2) 避雷導線 (3) 接地極 (4) 接地抵抗の測定 (5) 接地極埋設機																			
4. 接地設備	(1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設機																			
【受変電設備】																				
5. 受変電設備	(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器																			

17. 映像・音響設備	<p>(1) 設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像機器 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクタ (・前面投射式) ・背面投射式 スクリーン (・反射マット形) ・反射ビーズ形 スクリーン巻上装置 (・電動式) ・手動式 液晶ディスプレイ 付属機器 <ul style="list-style-type: none"> 録音再生装置 (・HDD) ・Blu-ray/DVD) ・その他 () テレビチューナー (・UHF) ・BS) ・CS) ・その他 () カメラ) ・パソコン) ・その他 () <p>(2) 映像機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>(4) 増幅器</p> <p>(5) 付属機器</p> <p>(6) 操作装置</p> <p>(7) スピーカー</p>
18. 拡声設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカー</p>
19. 誘導支援設備	<p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>(3) インターホン</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p>
20. テレビ共同受信設備	<p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p>
21. テレビ電波障害防除設備	<p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p>
22. 監視カメラ設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>(5) 録画装置</p>

23. 駐車場管理設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 信号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カーゲート</p>
24. 防犯・入退室管理設備	<p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入退室管理装置</p>
25. 自動火災報知設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機 (表示装置)</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 感知器</p>
26. 自動閉鎖設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <p>(5) 自動閉鎖装置</p>
27. 非常警報設備	<p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p>
28. ガス漏れ火災警報設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p>

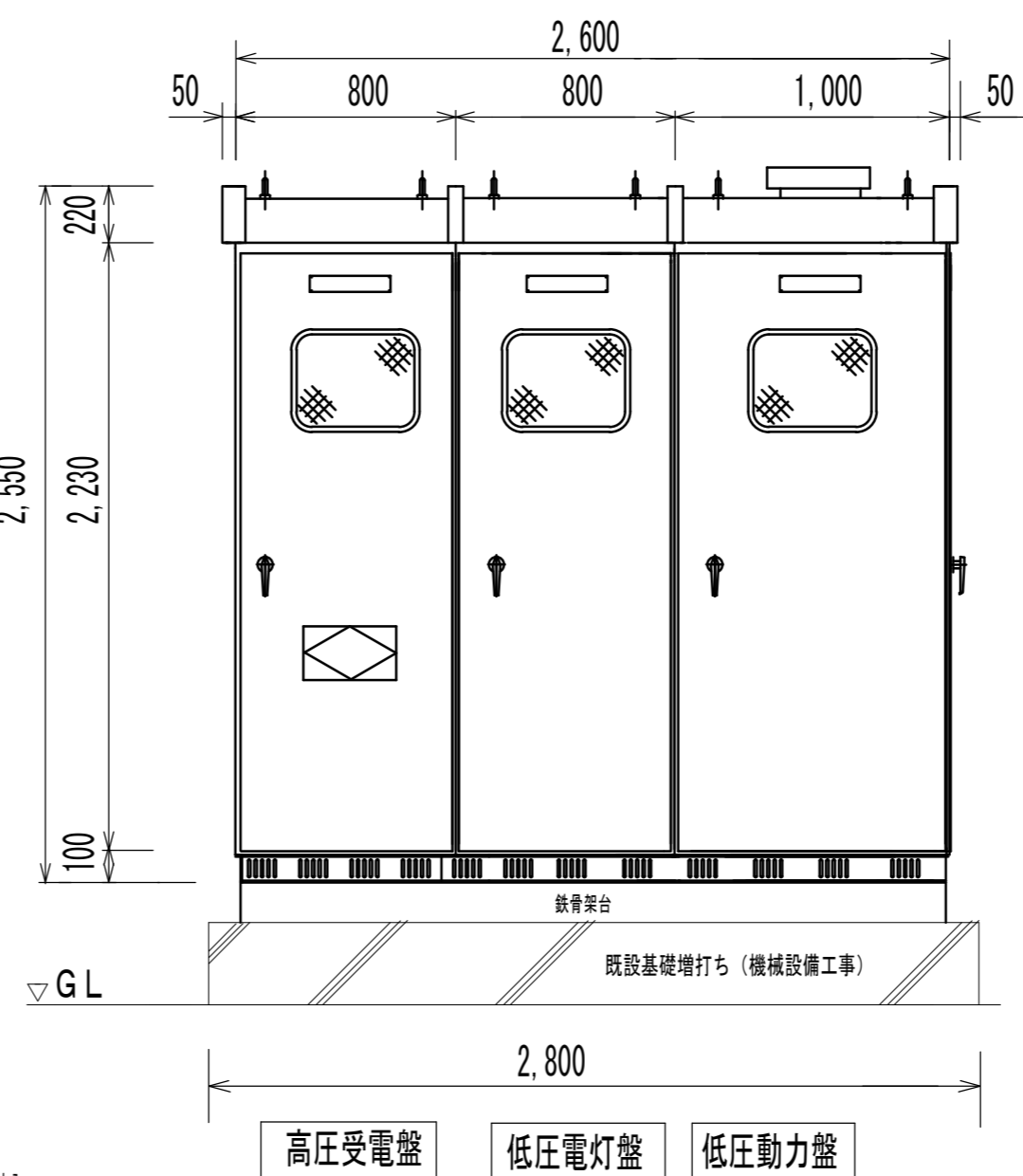
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器 (高圧用)</p> <p>(4) 装柱機器 (低圧用)</p> <p>(5) ハンドホール、マンホール</p> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>32. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール、マンホール</p> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p>
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III. 機器標準取付高さ	<p>標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(○印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>側 点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上～意中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">電灯</td> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>コンセント (台上)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>コンセント (WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動力</td> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> </tr> <tr> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電話</td> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">時計・拡声</td> <td>壁掛型観時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>時計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">表示</td> <td>アッペネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">インターホン</td> <td>ベル、プザー、チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">テレビ</td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>子機 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>呼出しボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950</td> </tr> <tr> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)</p>	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下～下端		取引用計器	地上～意中心	1,800～2,000	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000	分電盤	床下～中心	1,500	電灯	スイッチ	床下～中心	1,300	コンセント (一般)	床下～中心	300	コンセント (和室)	床下～中心	200	コンセント (台上)	床下～中心	150	コンセント (WP)	床下～中心	1,000	コンセント (地下)	床下～中心	1,000	コンセント (土間)	床下～中心	500	動力	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500	電話	端子盤	床下～下端	300	保安器盤	床下～中心	2,000	壁位置ボックス	床下～中心	300	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200	時計・拡声	壁掛型観時計	床下～中心	1,500	時計	床下～中心	2,300	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	表示	アッペネータ	床下～中心	1,300	表示器	床下～中心	2,300	壁付発信器	床下～中心	1,300	インターホン	ベル、プザー、チャイム	床下～中心	2,300	壁付インターホン	床下～中心	1,300	壁位置ボックス	床下～中心	300	テレビ	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800	火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500	発信器	床下～中心	1,300	表示灯	床下～中心	1,800
名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																				
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																					
	取引用計器	地上～意中心	1,800～2,000																																																																																																																				
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																				
	分電盤	床下～中心	1,500																																																																																																																				
電灯	スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																				
	コンセント (一般)	床下～中心	300																																																																																																																				
	コンセント (和室)	床下～中心	200																																																																																																																				
	コンセント (台上)	床下～中心	150																																																																																																																				
	コンセント (WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																				
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																				
	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																				
動力	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																				
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																				
	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																				
	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500																																																																																																																				
電話	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																				
	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																				
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																				
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																				
時計・拡声	壁掛型観時計	床下～中心	1,500																																																																																																																				
	時計	床下～中心	2,300																																																																																																																				
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300																																																																																																																				
表示	アッペネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																				
	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																				
	壁付発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																				
インターホン	ベル、プザー、チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																				
	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																				
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																				
テレビ	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																				
	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																				
	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950																																																																																																																				
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																				
火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																				
	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																				
	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																				

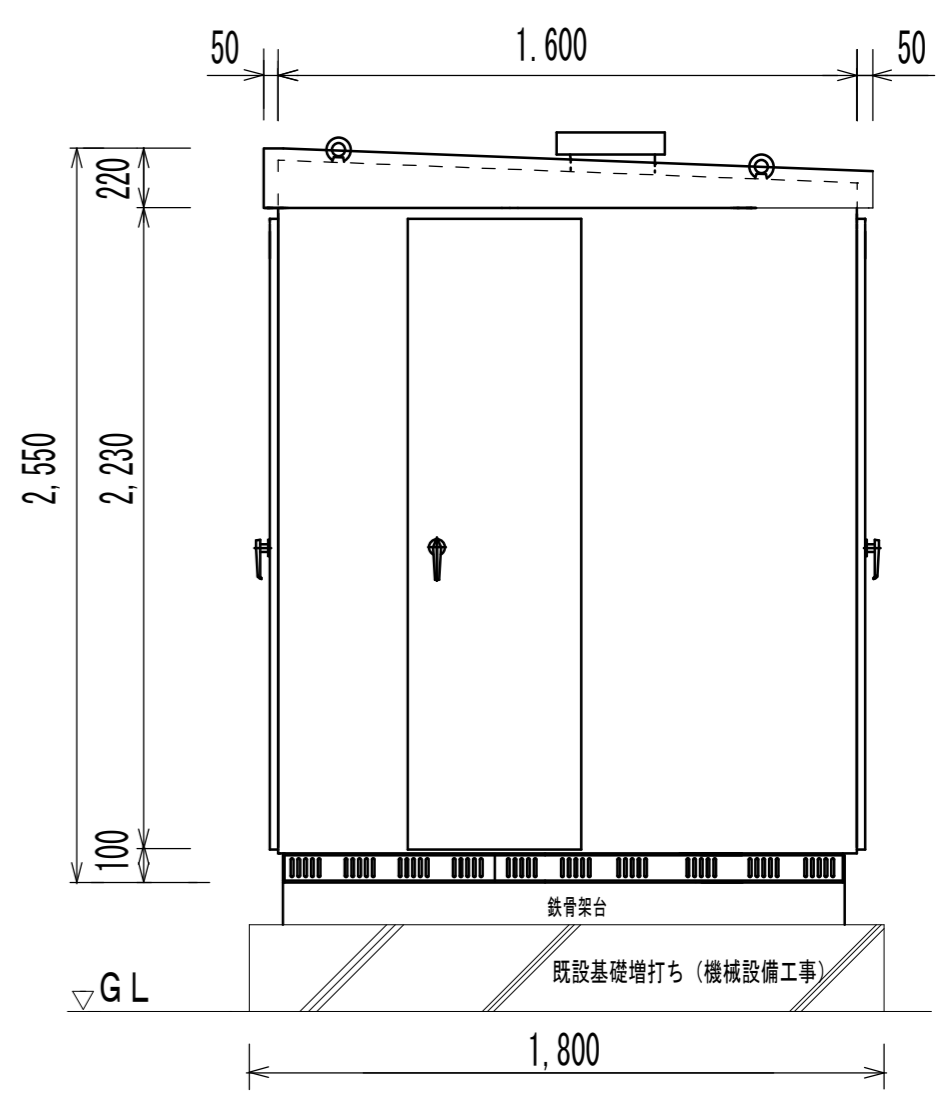


負荷番号	負荷名称	配線サイズ	遮断容量 MCB			
			P	AF	AT	AT
L-1	既設 CV38'	3	100	100	100	100
L-2	既設 CV60'	3	225	150		
ML-1	既設 CV22'	3	100	100		
体幹給	既設 CV22'	3	100	100		
予備			3	100	100	
予備			3	100	100	
所内電源		2	50	20		
GRY電源		2	50	20		
送電設備		2	50	20		
予備		2	50	20		

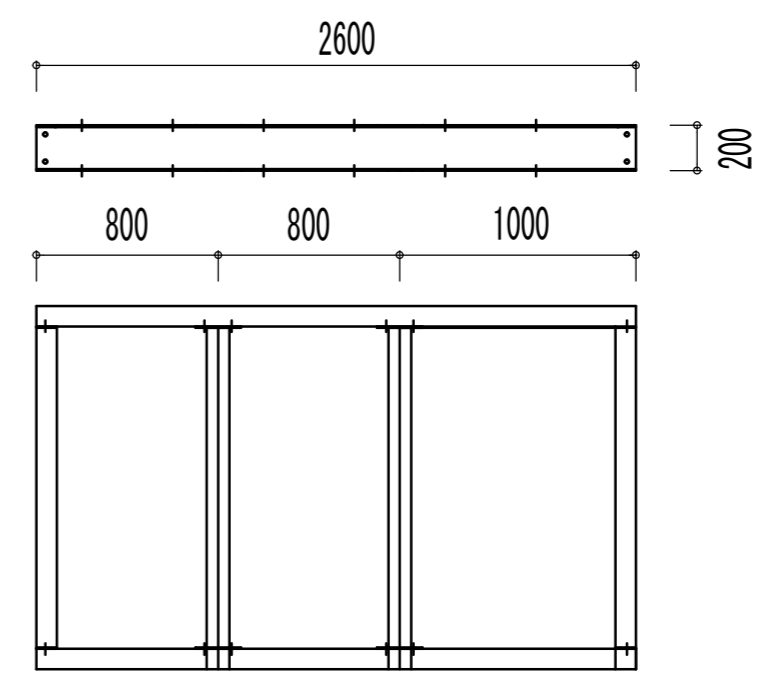
負荷番号	負荷名称	配線サイズ	遮断容量 MCB			
			P	AF	AT	AT
図書館S-1	既設 CVT22'	3	50			
E7コン	既設 CV22'	3	100	100		
ポンプ	既設 CV14'	3	100	75		
OM-1 (新設)	CVT150'	3	400			
OM-2 (新設)	CVT38'	3	100	100		
手元照明器 (新設)	CVT22'	3	100	100		
予備			3	100	100	
予備			3	100	100	
M-2	既設 FP38'	3	100	100		



キュービクル正面図



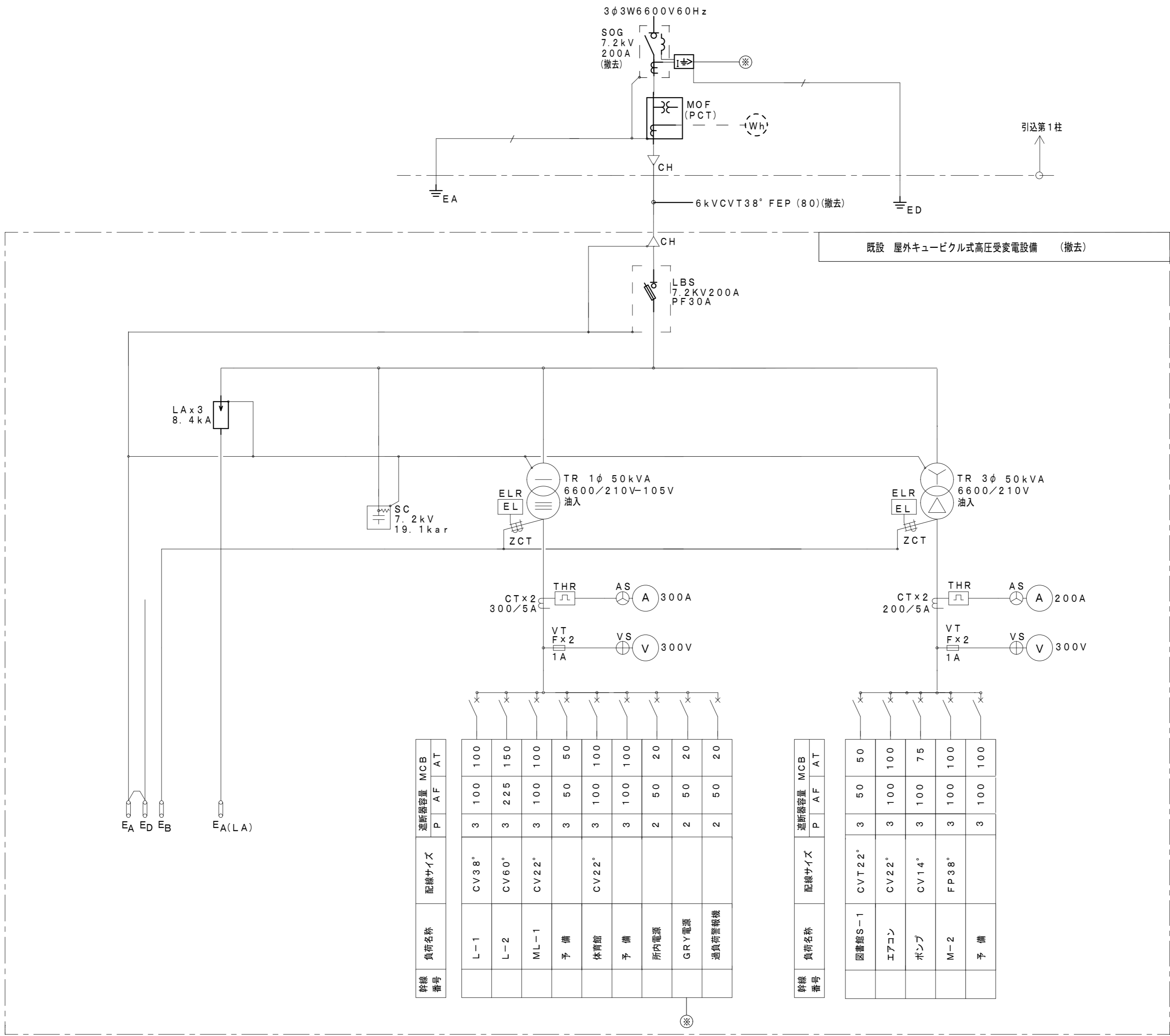
キュービクル側面図



鉄骨架台参考図

材質: t8x90x200 溝形鋼
仕上: 溶融亜鉛メッキ

屋外キュービクル式高圧受電設備 消防認定品



幹線 番号	負荷名称	配線サイズ	遮断器容量 MCB		
			P	AF	AT
	L-1	CV38°	3	100	100
	L-2	CV60°	3	225	150
	ML-1	CV22°	3	100	100
	予備		3	50	50
	体育館	CV22°	3	100	100
	予備		3	100	100
	所内電源		2	50	20
	GRY電源		2	50	20
	通員警報機		2	50	20

幹線 番号	負荷名称	配線サイズ	遮断器容量 MCB		
			P	AF	AT
	図書館S-1	CVT22°	3	50	50
	エアコン	CV22°	3	100	100
	ポンプ	CV14°	3	100	75
	M-2	FP38°	3	100	100
	予備		3	100	100

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:NS

drawing title
既設キュービクル 単線結線図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

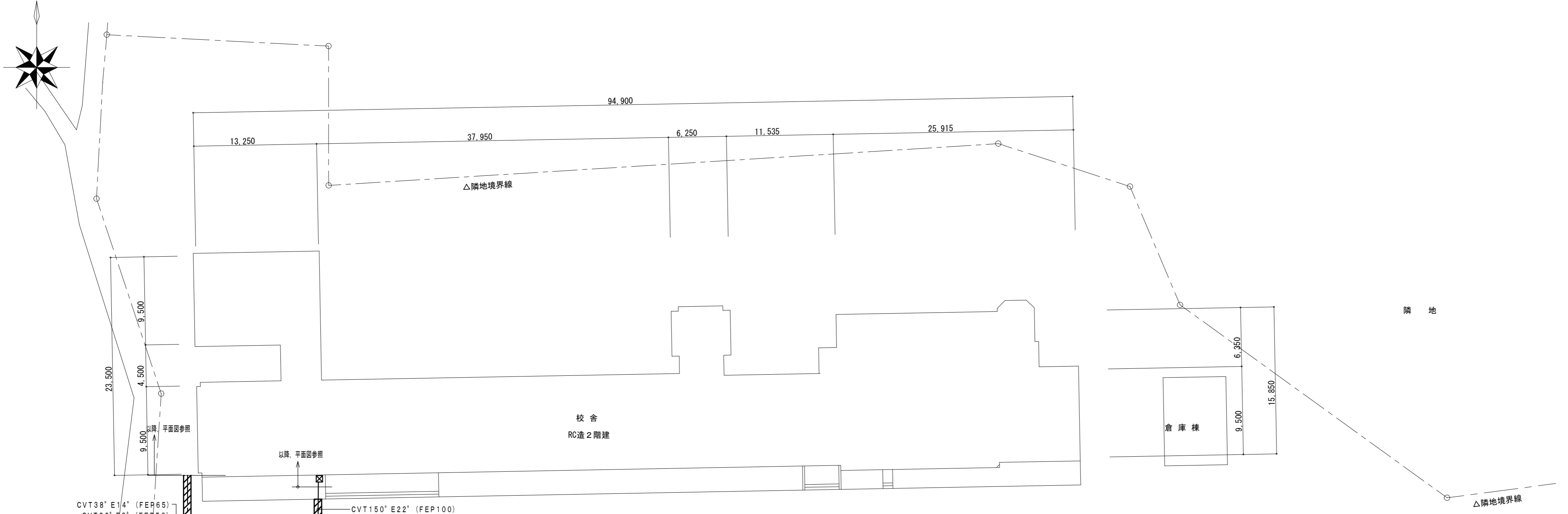
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

E-05

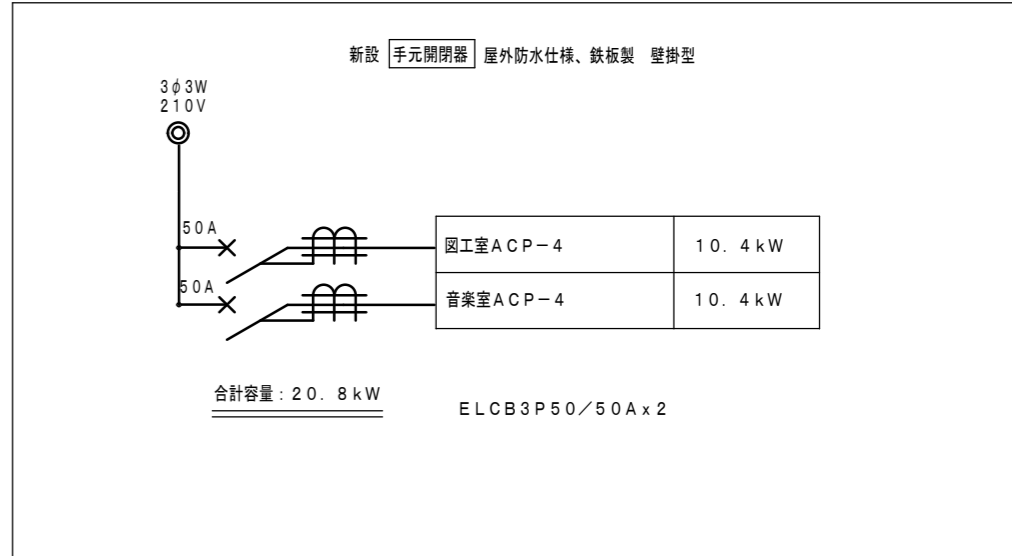
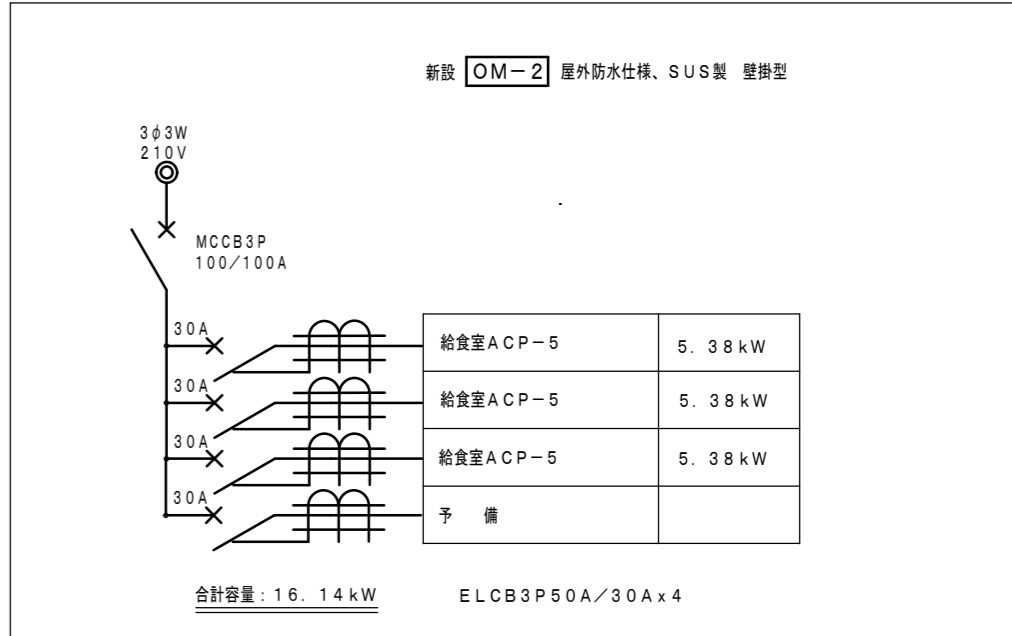
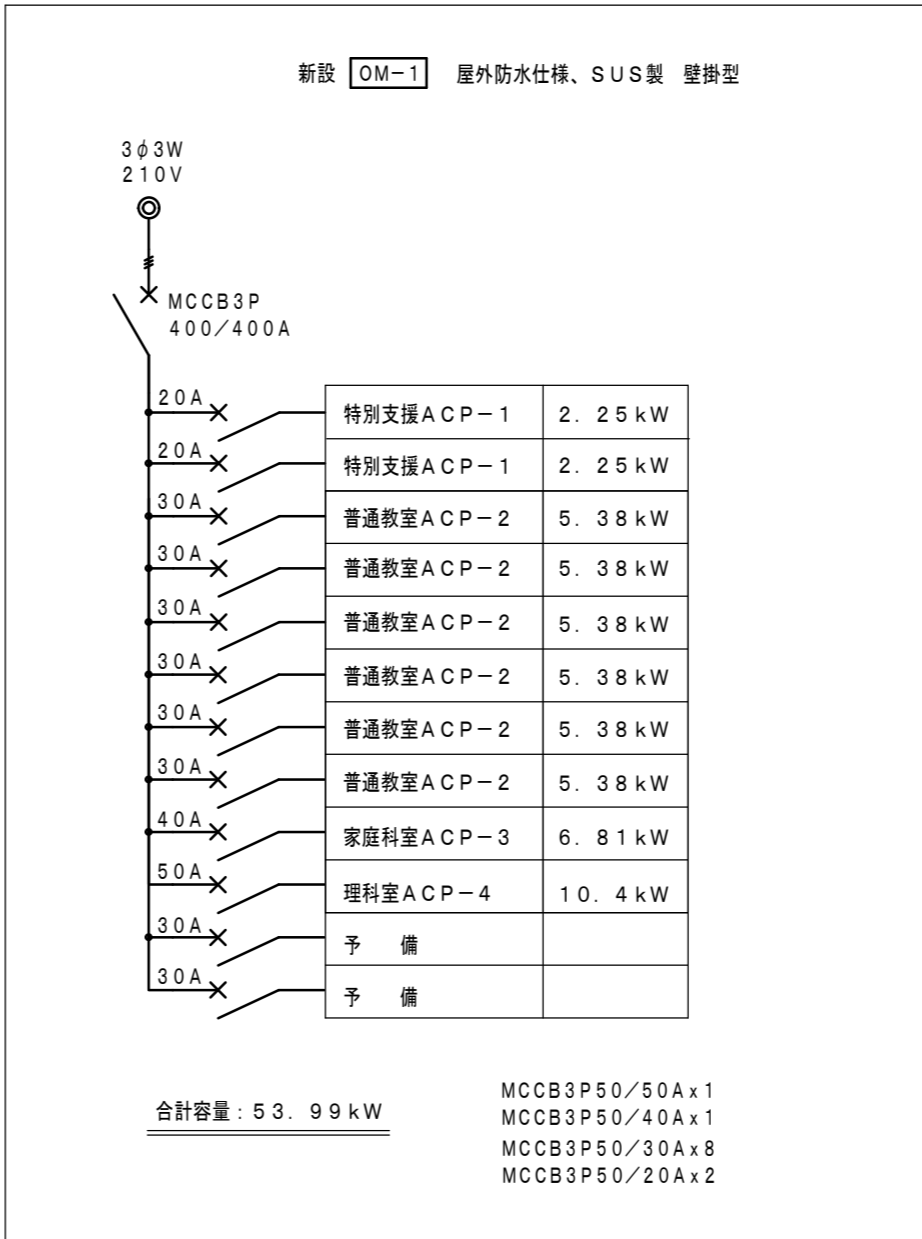
原図: A2

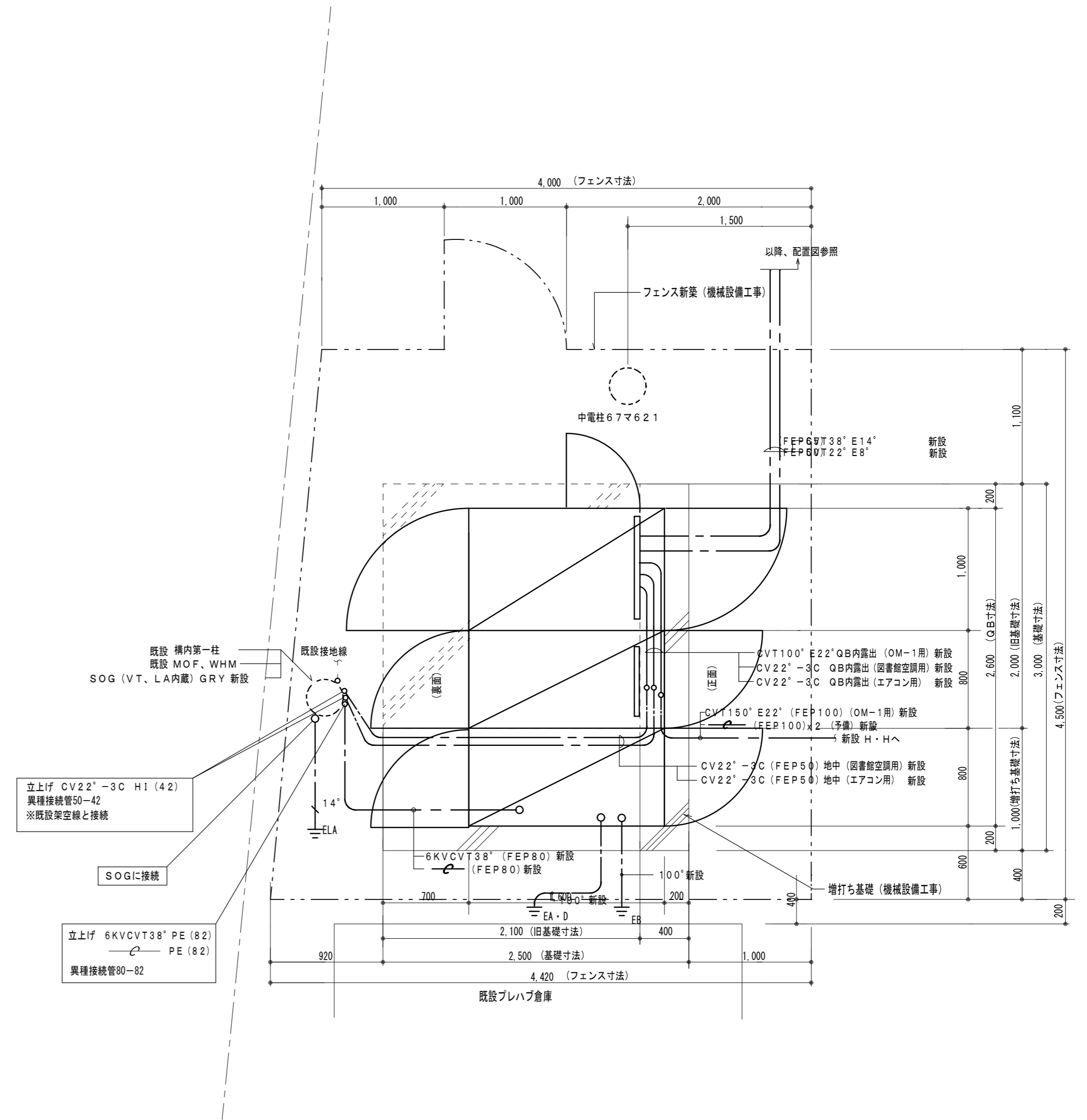
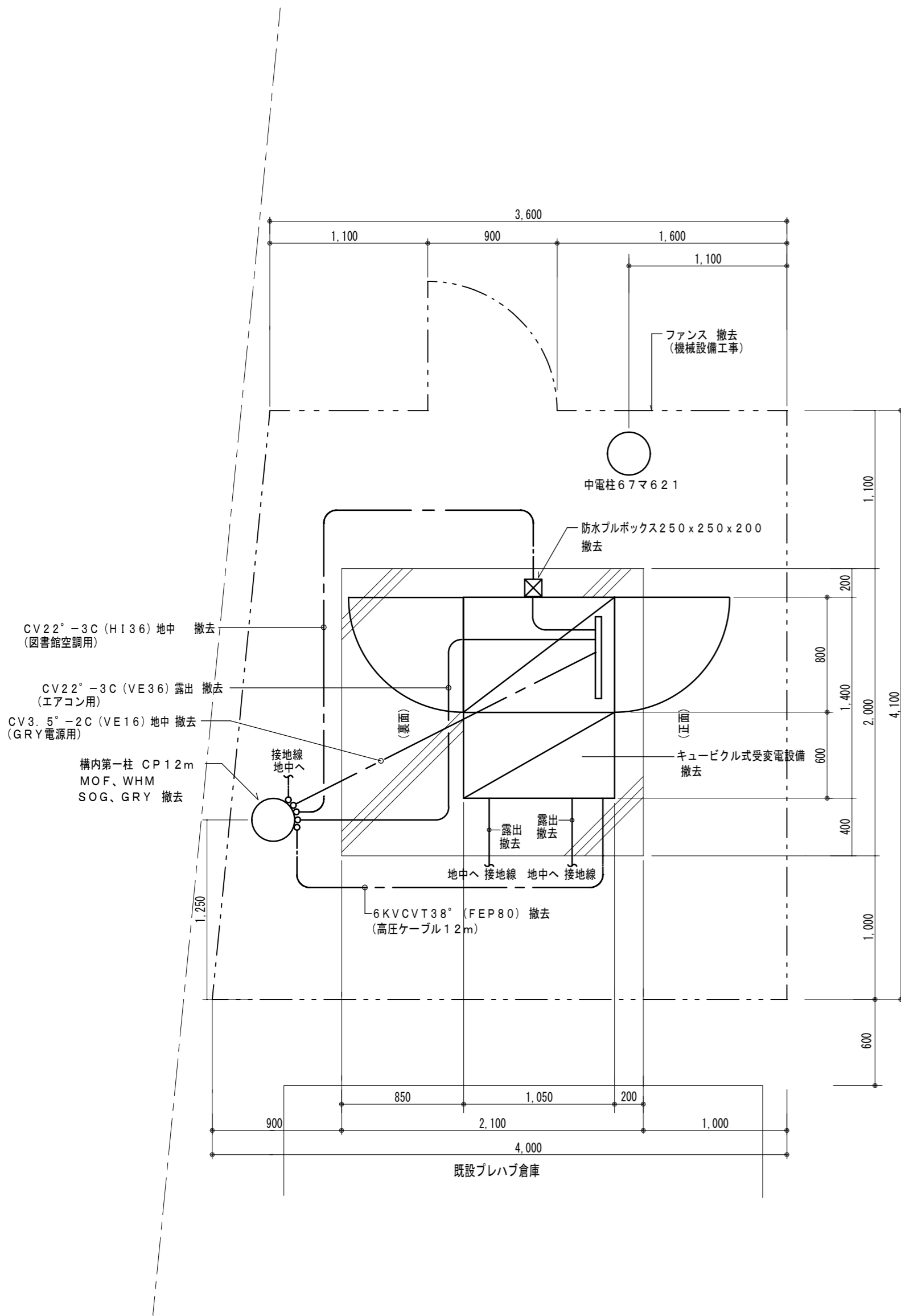


キュービクル廻り詳細図参照
キュービクル更新
(基礎増打ち・フェンス更新は機械設備工事)

注記
1、凡例
 : ハンドホール 600x600x900 600φ重荷重蓋
 : 埋設指示杭 鉄ピン
 2、08更新に伴う停電時の電力として
 1φ3W 3kVA程度の仮設電源を電力会社より引き込み、給食室分電盤へ送電する事
 仮設ケーブル CVT14° 60m
 仮設引込開閉器箱 30A 1個 を見込むこと

配置図 S=1:300





memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1/30

drawing title
電気設備 キュービクル廻り詳細図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

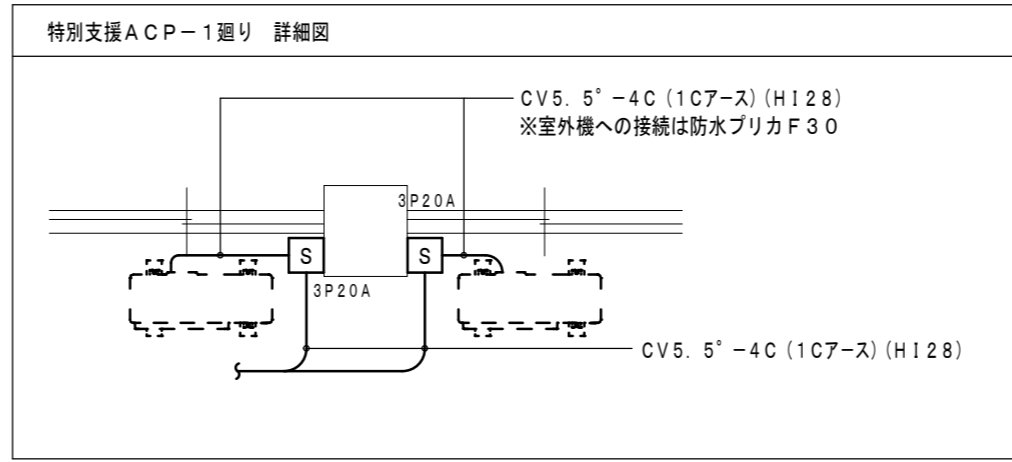
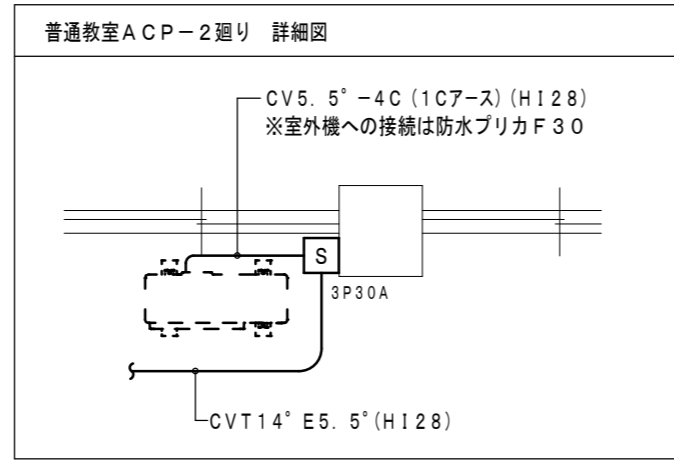
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

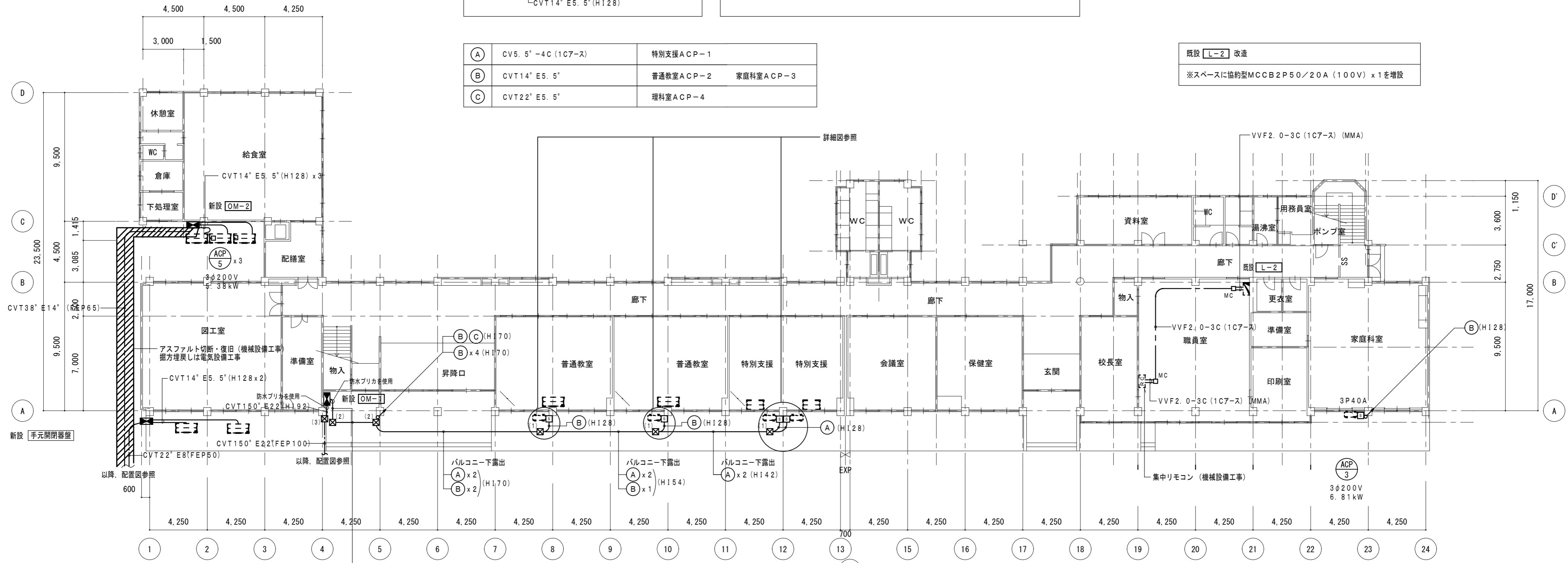
E-07

原図: A2



(A)	CV5, 5°-4C (1C7-ス)	特別支援 ACP-1
(B)	CVT14° E5, 5°	普通教室 ACP-2 家庭科室 ACP-3
(C)	CVT22° E5, 5°	理科室 ACP-4

既設 L-2 改造
※スペースに協約型 MCCB 2P50/20A (100V) x 1 を増設



以降、配置図参照
 ACP 4
 3φ200V 10.4kW
 ACP 4
 3φ200V 10.4kW

壁面露出

(B) (C)	(H170)
(B) x 4	(H170)
(A) x 2'	(H170)
(B) x 2	(H170)

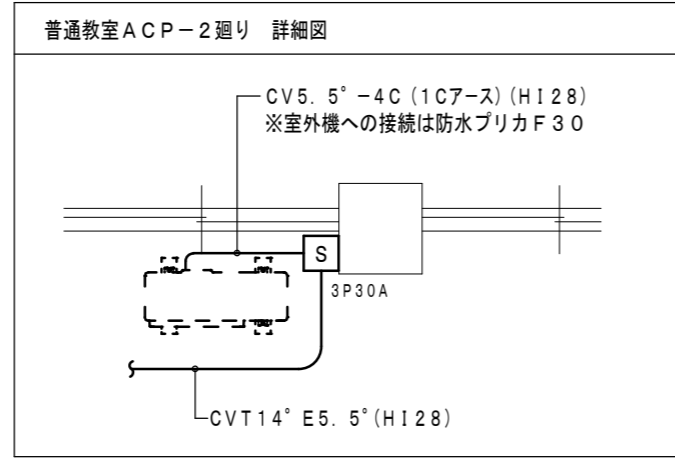
1階平面図 S=1:200

注記

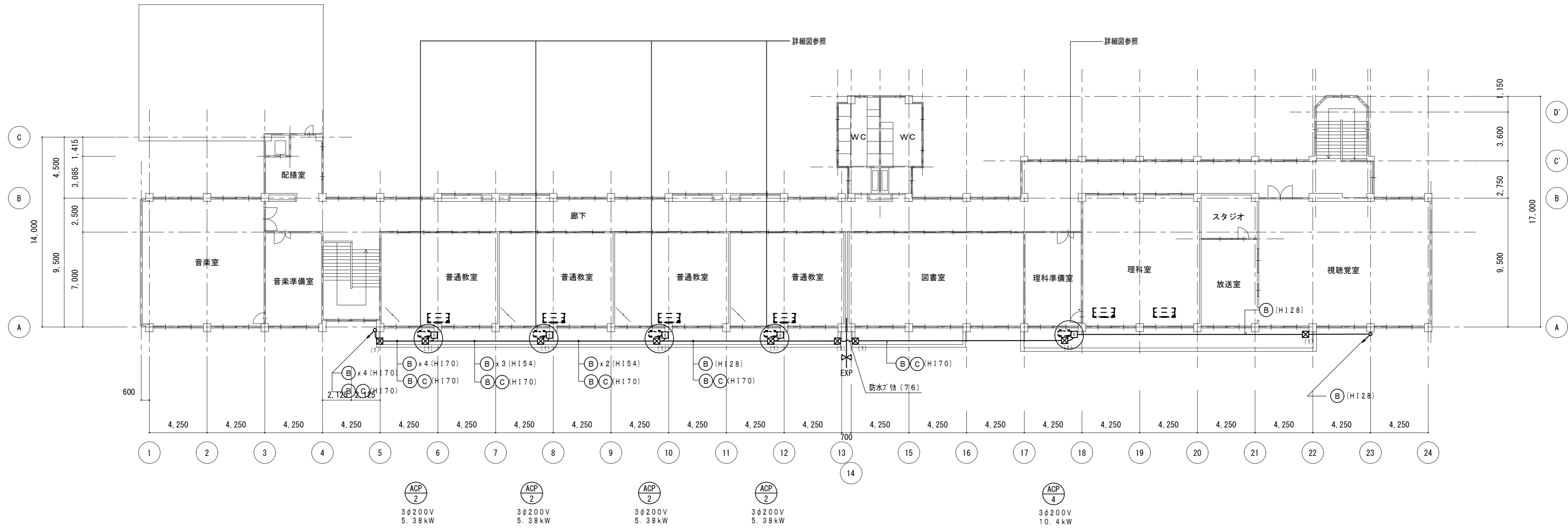
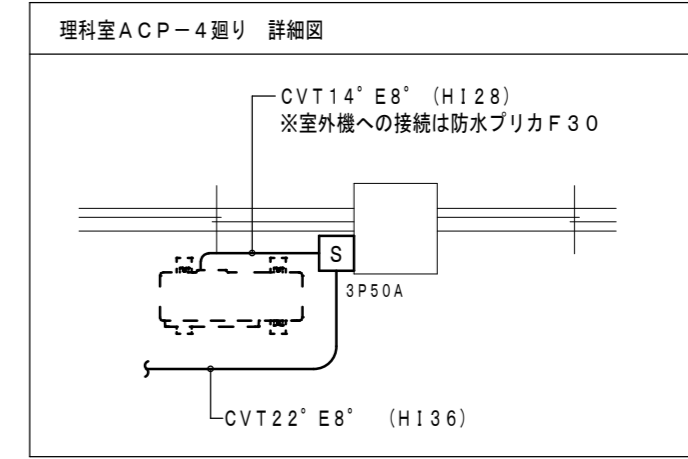
1. 凡例

- ☒ (1) : 防水ブルボックス SUS製 300x300x200
- ☒ (2) : 防水ブルボックス SUS製 400x400x300
- ☒ (3) : 防水ブルボックス SUS製 500x400x300
- ☐ 3P20A : 手元開閉器 (防水函収納) ELCB3P20A SUS製
- ☐ 3P30A : 手元開閉器 (防水函収納) ELCB3P30A SUS製
- ☐ 3P40A : 手元開閉器 (防水函収納) ELCB3P40A SUS製
- ☐ 3P50A : 手元開閉器 (防水函収納) ELCB3P50A SUS製
- MMA : 1種金属線び (メタルモール) A型
- ☐ MC : 1種金属線び (メタルモール) コーナーボックス

2. 空調室外機への接続には防水ブリカを使用の事



(B)	CVT14° E5, 5°	普通教室ACP-2	家庭科室ACP-3
(C)	CVT22° E5, 5°	理科室ACP-4	



2階平面図 S=1:200

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:200

drawing title
空調電源設備 2階平面図

project title
津市立明小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

E-09
原図: A2